

20年のあゆみ









「山牟八巷からスタート」、今月は奇したら二十基窓今年で二十周年を迎えます。

前身団体)が京都の伝統行事である「祇園祭」に曳き

により京都青少年活動推進会議

(当ボランティア21の

昭和五十九年、

故伊住政和会長

(当時)

の呼びかけ

数500名で参加することができました。山鉾八基からスタートし、今年は奇しくも二十基総

きました。 まで本行事に携わられた関係各位に用意させていただまで本行事に携わられた関係各位に用意させていただ

の紋を配したものです。
を中央におき、右肩より平成十五年の巡行順に各山鉾を中央におき、右肩より平成十五年の巡行順に各山鉾
を中央におき、右肩より平成十五年の巡行順に各山鉾
の紋を配したものです。

京都・祇園祭ボランティア21



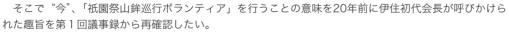
75,00	20+0@90 ▼
4	20周年によせて
	村山忠彦(京都・祇園祭ボランティア21 会長)
	深見 茂(財団法人祇園祭山鉾連合会 理事長)
	森 壽雄(八坂神社 宮司)
5	祇園祭山鉾連合会 代表者
6	京都・祇園祭ボランティア21が生みだされたいきさつとあゆみ
8	20周年公開シンポジウム
12	山鉾町から
13	年代別担当山鉾数/ボランティア参加数
14	20年間の参加団体
15	祇園祭 20周年座談会
18	巡行当日の裏方ボランティアの1日
20	過去の新聞記事紹介
22	京都銀行・祇園祭アンケート
24	担当山鉾の推移
27	昔の写真

20周年事業趣意書

祇園祭ボランティア活動の20周年にあたり、今一度初心にかえり、祇園祭曳き手ボランティア活動が歩んできた道程を考え、そして新しい町衆(京都人)としての我々ボランティアメンバー 一人一人が進むべき道を示してゆきたい。

20年前に(故)伊住政和初代会長が京都の青年、青少年団体を統合する集まりを作ろうと呼びかけ、「京都青少年活動推進会議」が発足し、「京都市成人式」「全国車いす駅伝」、そして「山鉾を曳く」実行委員会ができました。

以来、それぞれの行事に主体的な取り組みを行ってまいりましたが、時の経過はその精神をややもすれば風化させます。





初代会長 伊住政和 相談役

- ■京都の青年自らが力を一つにし、積極的に社会に参加する行動が京都の活性化に寄与し、次世代を担う青少年の地域での役割が 自らの行動と思考によってえられるものと考える。
- ■祇園祭山鉾巡行ボランティアは、単に事実上アルバイト大学生に替わることではなく、「参加」に重点を置き、伝統文化の親から子・子から孫への継承を学ぶことを通して、京都での青年の役割を自覚することを目的とする。

20周年事業は記念事業ではなく、過去20年間の先輩たちのご苦労に対する感謝と、ともすれば忘れてしまう "活動の原点の心" と "伝統を守り、継承されている町衆の心意気"を改めて感じとり、今後、活動を続けていく上での礎(確認事業)と位置づけ、次の2つの事業を行う。

(1) 公開シンポジウム

20年度のようなかたちでボランティア活動が歩んできたか、又その間「山鉾連合会」や各「山鉾町」の方々との携わりや交流のあり方等々を洗い直し今後の活動につなげる。

(2) 20周年謝恩式典、パーティー

20年のボランティア活動の歩みを「青少年活動推進会議」発足から関わって戴いたOB並びに現役のメンバーはもちろん、「祇園祭山鉾連合会」と八坂神社、山鉾町、そしてご協力いただいた京都府、京都市、及び加盟団体、協賛企業の皆様が一堂に集う初めての会を行う。

そして、先人に対する感謝とその足跡を再確認することで我々の活動の連帯の輪をさらに強くし、来年以降も社会により一層 貢献できるように心を一つにして、次の年へ向かって再スタートを切る決意と感謝の場としたい。

【 京都・祇園祭ボランティア21 】

20周年によせて



ご 挨 拶

京都・祇園祭ボランティア21 会長 村山 忠彦

1984年(昭和59年)故伊住政和初代会長の呼びかけで始まった私達祇園祭曳き手ボランティアの活動は本年で20周年を迎えることができました。

長刀鉾と山7基で始まったこの活動も今年は山鉾合わせて20基、535名の参加者を数える大きな規模に発展してまいりました。これもひとえに山鉾連合会、各山鉾町の皆様のこの活動に対する深いご理解と、のべ8000名に達するボランティアの人々の御協力のたまものであると、改めて感謝を申し上げます。

た行事がとり止められたり、優秀な技術が絶たれたりということが身の回りに多くあります。

私達のボランティア活動の目的は山鉾を曳き、舁つぐことは言うまでもありませんが、それを通し て祇園祭の歴史や、伝統文化、伝統行事を継承していくことの大切さを感じることにあります。近年、社会環境の変化により、我が国古来の文化や行事がどんどん失われてゆきます。古くさい、じゃまくさいという思いから永年続けられてき

そんな中にあって祇園祭は過去幾多の困難をのり越えて現在に至っています。それを思うとき先人達のこの祭にかける努力や心意気に感謝せずにはおれません。

ボランティアの皆様がこの祭の中に身をおくことで、先人が私達に残してくれたこの素晴らしい文化・伝統を受け継ぎ後世に残す責任を体感して欲しいと思います。そしてこのボランティアの経験を社会の一員として色々な場面で生かして欲しいのです。

社会に対する関心、地域に対する関心、家族(親子)絆がだんだん希薄になっていく現在、この活動がこうした傾向にはどめをかける一助となりますよう、今後10年、更に20年、受け継がれていくことの責任を痛感する次第です。

• • •

財団法人祇園祭山鉾連合会 理事長 深見 茂

曳き手ボランティア創設二十周年、誠におめでとうございます。

祇園祭山鉾行事が応仁の乱からの復興以降、まがりなりにも今日まで続いてこれましたのは、実はこの祭行事が任意の大衆参加の形態をとらず、町衆の独占的世襲制による運営を固持してきたからに他なりません。かれら自治組織の責任者たち、いわゆる旦那衆は祭の中枢業務、すなわち財務と運営を手中に握りながら、祭の執行に必要な他の諸部門の実務のほとんどは請負制に依存して参りました。この請負った各種の職人衆も次第に独占的世襲制をとるにいたり、それぞれが所属する町内や旦那衆

との互いの結付きは祇園信仰を核として次第に強固なものとなり、江戸、明治を経て昭和の初期まで維持されて参ったのです。鉾の曳き手や山の舁き手も、この請負集団の一つでありました。

これらの集団が第二次世界大戦後の政治・社会・経済情勢の激変によって崩壊しはじめ、山鉾巡行自体も危機に瀕したとき、これを救済すべく澎湃として起こって参ったのが曳き手ボランティア運動でありました。広く社会奉仕の精神をバックボーンとするこの活動は、かつての請負集団のいわば現代版であります。発足以来二十年、ボランティアと町内の者らがボランティアの人々の祭執行に対する真摯な態度に刺激されて初心に還り、自らの姿勢を正すという現象さえ見られるほどであります。

かくて、旦那衆の独占的世襲制を守る伝統維持の精神と、現代的奉仕精神との円満なる合体がここにめでたく実現した、と申せましょう。

「京都・祇園祭ボランティア21」の皆々様に心よりお慶び申し上げるとともに、今後とも御支援のほど、何卒宜しくお願申し上げます。

• • •

八坂神社 宮司 森 壽雄

祇園祭曳き手ボランティア21の皆様の活動が二十周年を迎えられ、先ずもってお祝い申し上げますとともに、長い間にわたり続けてこられた情熱に対し敬意を表します。

さて、祇園祭は"祇園さん"八坂神社の神を敬仰する祭礼で、多くの神事から成り立っており、山鉾巡行も含め決して「イベント」の類とは違うということです。その違いは神がいますか否かであります。信仰心があればこそ先人も如何なる困難をも乗り越え、そして今日に立派に引き継がれているのです。企画に飽きたから次々に変える、またはやめてしまうといったイベントとは根本的に違います。

皆様はよくおわかりのこととは存じますが、新しいメンバーも次々に加わり活動を続けてゆかれる中で、今後のさらなる発展には「初心忘るべからず」も大切なことですから、今一度認識いただきたいと思う次第です。

祇園祭曳き手ボランティア21の活動は、千年をゆうに越える歴史の一端を担っています。山鉾の重みは歴史の重みでも あります

誇りをもって今後の活動をさらに充実、継続していただきたく思います。皆様に活躍を期待しております。



◆祇園祭山鉾連合会 代表者

設立 大正12年 祇園祭山鉾連合会 結成 第一回会合 6月15日 平成4年6月17日 財団設立 財団法人祇園祭山鉾連合会

代表者 祇園祭山鉾連合会 会長 昭和36年~平成4年

田中 常雄

財団法人 祇園祭山鉾連合会 理事長 平成4年6月~平成5年3月

> 田中 常雄

平成5年3月~平成8年2月

岸本 伊蔵

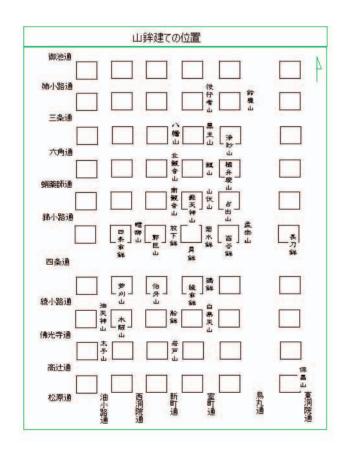
平成8年2月~平成8年5月

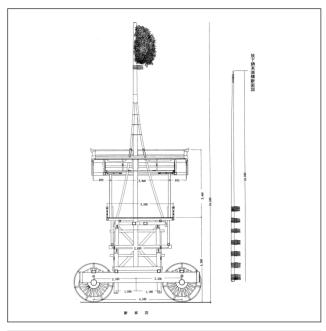
(代行) 深見 茂

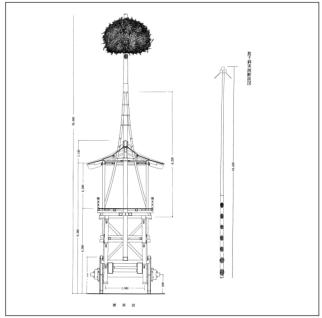
平成8年5月~

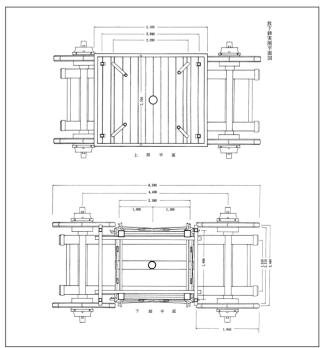
深見 茂

平成15年8月11日 記載









京都・祇園祭ボランティア21が牛みだされたいきさつとあゆみ

青年団体で連帯を

昭和57年日本青年会議京都大会開 催のため行政や京都市の各種青年団体 の有志により実行委員会が結成され、 全国大会を成功させました。その後、 この実行委員会にかかわった一部の団 体の中で今後連帯できるものを発足さ せようとする動きが出てきました。

昭和58年には、その中で16団体が 集まり京都青少年活動推進会議が発足 しました。この組織は、次代を担う青 少年の健全育成のため、会員および各 種青少年団体の連帯を深め積極的な社 会参加のもとに、豊かな福祉社会づく りを推進することを目的としていまし た。そして、青年の連帯と社会参加の 具体的活動として、翌59年から「祇 園祭山鉾巡行曳き手ボランティア活 動」が始まりました。初めての年は、 私たちの趣旨にご賛同いただいた、当 時の山鉾連合会の田中常雄会長を初め 連合会の皆様および曳き手として受け 入れていただいた、長刀鉾・芦刈山・ 油天神山・郭巨山・浄妙山・保昌山・ 孟宗山・役行者山8基の山鉾町の皆様 の協力のもとに、青年305名が集まり、 8基と補助隊とで参加いたしました。 そのパンフレットには、祇園祭に京の 若い力を!!エキサイティングKYOTO エキサイティングCULTUEREの表題。 京都が誇る世界的祭りに青年の自主的 な参加行動により新しいエネルギーを 呼び起すとともに、青年同志の連帯と 地域での青年の役わりを自覚すること を目的とし、推進会議は、翌年のI.Y.Y (国際青年年) のテーマ「参加」に活 動の重点をおき、祇園祭の山鉾巡行に 青年の力を結集すると力強くその決意 が表現されていました。

その中には、補助隊という曳き手の 支援組織が存在していました。昭和 63年の京都新聞7月11日のまめ辞典 祇園祭15を読んでみると、昭和36年 に巡行が河原町通に変更され曳き手不 足が原因で巡行が遅れ団子状態になっ たのを見て、当時山鉾連合会の宮下さ んをまとめ役としてアルバイトの学生 で構成し、巡行コースの要所要所で曳 き手を手助けしたのがはじめとされて います。推進会議が曳き手として参加 することになった時点で、この円滑巡 行手助けにも参加することになったの

です。名前も「遊撃隊」から「補助隊」 として32基の山鉾で、巡行コース道 路整備等が整った平成11年まで続き ました。また、巡行の先頭を行く山鉾 連合会の旗持ちと、当時の山鉾連合会 の宮下さんの下にガールスカウトが連 絡担当として参加し、御池通りの本部 テントにも湯茶接待として協力するこ ととなりました。巡行だけでなくいろ いるな方面での協力の下、初年度事故 もなく無事巡行し終え、青年の団結と 整然とした力を、山鉾町の皆様や、多 くの京都市民に認知させることとな り、以後20年の礎となったのです。

その後推進会議としては、翌年「京 都市成人の日記念式典」の事業も会議 の中に受け入れることとなり、青年の 力はその活動範囲を広げていきまし た。

推進会議に参加しているガールスカ ウトにもその役割が確定し、62年に は、ガールスカウトの8人が4組に分 かれて行列の要所に散り、無線を片手 に進行具合をチェック、全体のスピー ドを整えるという重要な役目を担って いることが、読売新聞に紹介され、そ の活躍が評価されるようになってきま した。翌年の63年には、各要点での 定点報告の形態をとり現在に至ってい ます。

活動の定着、そして発展へ

以後数年間曳き手ボランティア活動 は、平日の巡行にもかかわらず、推進 会議の会員以外の一般公募からの参加 も次第に増えていきました。昭和63 年には、百七十年ぶり巡行に復活した 四条傘鉾に曳き手として参加できると いう栄誉もいただき、その活動は定着 してきました。その中で、この年は二 順目にあたる国体が京都で開催される に当たり、その後に開かれた全国身体 障害者スポーツ大会に協力しました。 このことが、その後毎年京都で開催さ れる「車いす」駅伝の支援委員会へと つながり、こうして平成2年には、推 進会議として「祇園祭」「成人式」そ して「車いす」の三つの事業が確立し ていったのです。

その間10年目の節目の年に放下鉾 と北観音山の曳き手として参加できる ようになり曳き手の総数も400名を超

える人数になりました。この年、設立 より連続10年にわたり会長職にあっ た伊住政和氏が相談役に退き、二代目 会長に仲祥介氏が就任。推進会議の委 員会も10周年記念事業等7つに拡大 したほか、加盟団体も23団体に増え てきました。平成6年には、菊水鉾の 曳き手として参加できました。この年 推進会議会長が仲氏より村山忠彦氏に 変わりました。

曳き手ボランティア活動は、翌年に は、月鉾・木賊山・伯牙山・岩戸山の 4基の山鉾が加わりされ、新たな曳き 手としてその力を発揮いたしました。 このときに、曳き手総数475名でした。 そして補助隊は平成6年その役目を終 えました。

平成9年には発足母体である京都青 少年活動推進会議が発展的に解消さ れ、祇園祭を担ってきた祇園祭ボラン ティア委員会が独立。「京都 祇園祭 山鉾巡行曳き手ボランティア委員会」 として祇園祭曳き手ボランティア事業 を引き継ぐことになり、推進会議の村 山会長が委員会会長として就任するこ ととなりました。その中で新たに、こ の祇園祭曳き手ボランティアの委員会 への参加を推進会議参加団体に呼びか け、多くの団体が以前と変わらず参加 協力していただけることになりまし た。その後、参加団体は、青少年団体 と共に、京都市を職場として働いてい る人たちがグループを作り参加してい ただくことになり、さらにひろがりを 深めることとなりました。毎年一般公 募より曳き手として参加していただい た人達の中から、継続的に協力してい ただける支援組織として「京祭会」が 組織されました。

平成12年には、霰天神山を曳き手 として受け入れていただきました。こ の年、より巡行の円滑化を図るために 山鉾連合会の各理事に私たちの理事付 の係がつくようになりました。

一部沿道の巡行の安全のために見物さ れている人たちの整理の手助けなども 加わりました。

平成13年からは、巡行にかかる時 間も記録されるようになり、ガールス カウトの無線連絡が山巡行の円滑化へ の大きな力として大いに認められるよ うになりました。

そして、この年、「京都 祇園祭 山 鉾巡行曳き手ボランティア委員会」を 「京都・祇園祭ボランティア21」と名 称変更、会則等も制定し組織としての 確立も行いました。

平成15年には八幡山と橋弁慶山に 曳き手として受け入れていただき計 20基の山鉾を担当、曳き手合計は491 名となり、本部付けの各種役割を担う 人たちも合わせると550名という大き な人数になってまいりました。

毎年、2月にはその年の巡行につい ての打ち合わせが始まります。3月に は、その大筋が決定し、4月にはその 年の曳き手ボランティアの確定のため の人員の確保、6月の初めには参加ボ ランティアの確定と通知、山鉾町との 打ち合わせと参加者とのオリエンテー ションとなり、無線体系の確立や本部 での役割分担など確認し、7月17日 の巡行日を向かえます。巡行後、来年 に向けての意見集約、記録写真展の開 催を経て、8月にはその年の役割を終 えます。

京都の世界に誇る祇園祭、その祭の 一端にかかわらせていただいている ことへの感謝

世界各地の人たちが山鉾を曳き、そ の体験は、祇園祭がもつ、すばらしい 文化と精神を日本の各地、世界の各地 に広がっていると信じています。

京都は、日本の文化の発信の町とし て参加できることを栄誉氏とていま す。

年号	西暦	推進会議会長	連合会会長	実行委員長	祇園祭ボランティア	周囲/世間では・							
昭和58年	1983年	A.K	AX		7/13:京都青少年活動推進会議発足								
昭和59年	1984年	千政和		林肇	・「曳き手ポランティア」スタート、「連合会本部湯茶接待」・長刀鉾・芦刈山・油天神山・郭巨山 浄妙山・保昌山・孟宗山・役行者山・キャッチフレーズ・エキサイティングKYOTO・エキサイティング CULTURE」。弥栄中学校でオリエンテーション(事務長:山田行圓)	· 八坂神社宮司 鈴木日出年							
昭和60年	1985年				・弥栄中学校でオリエンテーション ・無線隊4名(山鉾町責任者:宮下 買介) (事務長:服部 晃佳)	IYY (国際青年年) ・11/3:カルチャーフェスティバル (宝ヶ池 国際会議場) ・阪神タイガースリーグ優勝							
昭和61年	1986年				・車輪のマーク使用。(これまでIYY のマークを使用していた。)・常磐殿でオリエンテーションを行う。								
昭和62年	1987年		田中常雄	野田兼義	弥栄中学校でオリエンテーション・ガールスカウトの無線(8人)が女性ボランティアとして読売新聞に初掲載された								
昭和63年	1988年	伊住政和		楠 勝好	・四条傘鉾 追加 ・ガールスカウト無線をポイント監 視に変更。	・四条傘鉾117年ぶり復活 京都国体							
平成元年	1989年				(事務長:實村興治)	1/6:昭和天皇崩御 ねんりんピック							
平成2年	1990年			服部 晃佳		·四条傘鉾巡行不参加							
平成3年	1991年			MAHP JOIL		1/17:湾岸戦争							
平成4年	1992年				(事務長:石野行彦/正木景子)								
平成5年	1993年			和田淳司	・2代目:仲会長就任 ・放下鉾、北観音山 追加 ・一ヶ月前に100人不足、巡行前日 に人数そろう。	6/9:皇太子・雅子様ご成婚							
平成6年	1994年	仲祥介	岸本伊藏		・募集パンフレットの形態をハガキ 募集用に変更。 ・菊水鉾 追加 9/23:「京都青少年活動推進会議」 10周年記念祝賀会。	平安建都1200年 「戦後最も暑い夏」 渇水によ る被害404都道府県。 9/23~25:日本都市青年会 議京都会議の第4分科 会で「祭」についての テーマが話あわれる。							
平成7年	1995年	村山忠彦			・3代目:村山会長就任 ・担当山鉾数半数(16基)となる。 ・月幹、木賊山、岩戸山、伯牙山 追加 ・補助隊が無くなる。 ・ウイングス京都にて「山鉾町合同 打合せ会」開催	1/17:阪神淡路大震災 3/7:地下鉄サリン事件							
平成8年	1996年				・「京都青少年活動推進会議」発展 的解散。 「京都祇園祭曳き手青年ボランティ ア委員会」で活動継続。 ・ガールスカウト無線ボランティア が祇園祭の法被着用。この年のみ。	病原性大腸菌「O157」流行							
平成9年	1997年	委員会/ 村山忠彦											1/2: ナホトカ号重油流出 事故 10/12: 京都市営地下鉄東 西線開通 12/1: (COP3、京都会議) 京都議定書
平成10年	1998年								・ボランティア募集ポスター作成。・ガールスカウト無線隊用の記録ボード作成。				
平成11年	1999年			石野行彦	・常磐新殿でオリエンテーションを 行う。(山鉾立て看板作成) ・「青年ボランティア写真展」京都 府国際センターにて開催								
平成12年	2000年		深見茂		・霰天神山 追加 ・高校生ボランティア参加 ・無線の代わりに携帯電話を使用 ⇒ 結果不評	12/31:大晦日「五山の送 り火」							
平成13年	2001年	ボラ21/		榊原敏恭/	・「京都・祇園祭ボランティア21」 に名称改訂で再結成。 ・実行委員会(曳き手ボランティア 委員会+情報ネットワーク委員 会+伝統文化教育委員会) ・船鉾追加 ・(巡行当日の湯茶準備等)連合会 本部ボランティア開始	9/11:ニューヨーク、テロ							
平成14年	2002年	村山忠彦		石野行彦/ 中井敬二 	・小野田利隆副会長死去 ・連合会本部用ユニフォーム作成								
平成15年	2003年				・伊住政和相談役死去 ・八幡山、橋弁慶山 追加	・八坂神社宮司 森 壽雄 ・阪神タイガースリーグ優勝							
平成16年	2004年				、八田山、119开陵山 但州	12人1Tノ 1 7.3 一 7 一ツ 変勝							
, , , , , , , , ,													

20周年公開シンポジウム

平成15年6月29日(日)10:30~11:45 <日 時>

<場 所> 八坂神社内「常盤殿」

<主 催> 京都・祇園祭ボランティア21

<後 援> 八坂神社 (財)祇園祭山鉾連合会

「祇園祭にみる守・破・離~山鉾巡行を守り伝えたもの~」 <テーマ>

⟨趣 旨⟩

昭和59年・・京都が世界に誇る祇園祭・山鉾巡行を京都の若者のボランティア活動により支え、併せて京町衆(町中)の伝統と創生にか ける心意気を学び伝える・・その夢と志をもって産声を上げて以来20年目の夏を迎え、山鉾32基中20基を任され、500名のボランティ アが参画する今・・・

改めて町衆の方々の祇園祭山鉾巡行にかける想いを学び、本活動の今昔を検証するとともに、古学新賞"初心"に回帰する機会としたい。

<パネリスト>

吉 田 孝次郎氏 ((財) 祇園祭山鉾連合会 副理事長) : 北観音山 松 村 篤之介氏 ((財) 浄妙山 理事長) : 浄妙山 杉本 節子氏 ((財) 奈良屋記念杉本家保存会 事務局長) :伯牙山

村山 忠彦 (京都・祇園祭ボランティア21 会長)



<20年前、(故) 伊住政和初代会長 呼びかけ趣旨回顧>

京都の青年自らが力を一つにし、積極的に社会に参加する行動が京都の活性化に寄与し、次世代を担う青少年の地域での役割が自らの行 動と思考によってえられるものと考える。

祇園祭山鉾巡行ボランティアは、単に事実上アルバイト大学生に替わることではなく、「参加」に重点を置き、伝統文化の親から子・子か ら孫への継承を学ぶことを通して、京都での青年の役割を自覚することを目的とする。

挨 拶 (村山 忠彦)

20周年にあたり、今一度初心にかえり、ど のような形でボランティア活動が歩んできた か、又その間、山鉾連合会様や各山鉾町の 方々がどのようなお気持ちで接していただい たのか、等々を洗い直し、今後の活動につな げたい。

20年の説明 (村山 忠彦)

20年前、京都には青年団体や青少年団体が いくらもありましたが、それらを統合する組 織が無かった。

20年前に故伊住政和初代会長が京都の青 年、青少年団体に対し統合した集まりを作る うと呼びかけ、「京都青少年活動推進会議」が 発足し、「京都市成人式」「全国車椅子駅伝」 「山鉾を曳く」実行委員会ができました。

そして、それには2つの大きな目的があり ました。

それは若い人々が一同に会し、一つの力で 社会参加、地域参加することによって社会の 一員であることを自覚し、少しでも社会貢献 をして行こうとの大義名分。そして祇園祭は 日本を世界に誇る祭であり、京都の町衆の心 意気、及び、山や鉾の日本が世界に誇る多く の装飾品、工芸を直接見ることで、日本人 (我々の先人) がそれぞれの時代をどのように 生きてきたかを感じ、そして先人がすばらし いことをしていただいたことを思い、我々は それを引き継いでいかなければいけない。

我々はいまだに、その流れを持っているつ もりです。

単に山を担ぎ、鉾を曳くだけではなく、以上会として、この建物が「三井新町家」にあっ のような思いを持って我々は活動を行きたい。

20年すると風化する!! そこで皆様にこ こで「祇園祭山鉾巡行ボランティア」を行う ことの意味、そしてその主旨をく20年前、 (故) 伊住初代会長の呼びかけ趣旨回顧><第 1回議事録から>の中から再確認して欲しい。 (上記)

ラウンド 1 ● 山・鉾の思い出は?

祭の区域には「例年通り」という挨拶があ る。【 吉田 孝次郎 様 】



今日は北観音山の人間として発言をさせて いただきたいと思います。

この常盤殿はすごく懐かしい。

元々北観音山の町内に「三井新町家」があっ て、その中に常盤殿という御殿がありました。

私が祭に参加するようになりました昭和23 年変則的に祭が復興しまして2年目に「北観 音山」は「船鉾」との合同巡行で四条寺町ま で行って町内へ戻ってくるという、そういう 変則的な巡行がございました。その後の慰労

た時に3年ほど続けて大人や子どもが食事を した場所です。また、ボランティアとして2 ~3年目に連合会の役員をさせていただいた 時にこの建物で挨拶をさせていただいた。2 重の思い出がある建物です。

私が昭和23年から50年間は囃子方として、 一昨年まで「北観音山」に奉仕させていただ き、今では町内を超えて「祇園祭」全体のお 世話をさせていただけると言う家宝者です。

祭の区域には「例年通り」という挨拶があ ります。

あまり細かなマニュアルを列挙することな く、「今年も例年诵りよろしくお願いいたしま す。」と言えばだいたい了解し合えるというの が町内の構成員であります。ただし、例年通 りといいましても山鉾浮流ができて600年その 間にさまざまな有為転変がありました。しか し、「例年通り」という言葉で町内の心が一つ になれるように、時間をかけて~~、祭のあ るべき姿というものを決めてきたと思います。

ボランティア様とのお付き合いも20年もた ちまして、確か10年の時のパーティーで伊住 様に感謝を申し上げ、さらに言葉を足したこ とは、ボランティア様に対しても我々の町内 で交わす「例年通り」という言葉が使えるよ うになった。と申しあげ、喜んでいただいた。 20年もお付き合いをしていると、やはり「例 年通り」というご挨拶が互いにできる。これ はやはり大した意味を持つと思います。時間 の経過の中でこの人間関係を作って、できあ がってくる。 我々の町内における個々人の関 わり、各家の祭への関わり方もやはり「例年 通り」にお祭りを迎え、客迎えの設えができ、 するのが理想なんです。

あまりはではでしいお客様のお迎えをしな いでおくことが、例年通りにお祭りを迎えら れることといいながら、私の家ではやはり祇 園祭の日が一番の晴れの日でございます。

今年も「例年通り」にお祭りを迎えられる ことになれば良いかなと思っているのが今の 私の気持ちです。

吉田イズムの原点は?

私は祭の設えというものは女性に任すべき ものではないと思っているのが、吉田イズム の一端かもしれません。

私は客迎えの設えに関して毎年思考を凝ら します。それが構想通りにきちっとできた時 というのは一番充実している時です。それが 済んでしまえば、後は巡行なんてものは多少 格好を付けて楽しめば良いくらいに思ってい

ただ、朝、昼、晩と主人が着物に着替える わけですが、儀式に出向く時などに、そうい うことの諸準備は全て女性に委ねますし、台 所仕事はもちろんです。又男が帰ってきて、 帷子を肩に掛けてくれて、帯を占めて帯をポ ンと叩く、そこまでは全部女性のお世話にな ります。今、私の家内もそのようにやります し、私の母の時などはもっと父親は威張って いましたから、とても家の外へ出る暇が無い くらいに女性の仕事は刻々とあったようです。 ただ、私の叔母が3人おりまして、非常に祭 が好きで、祭が近づくと蔵の縁側の梁に金盥 をつるして、囃子のまねごとをしていました。 それほど、男も女も祭となれば、それぞれの 立場で精一杯楽しむんです。

しかし、実際「神事係り」が当たると、 辻々で誰に何を渡して、どこでどう挨拶をし てなどということを全部覚えていかなければ ならないわけで、安穏と楽しめるようなもん ではありません。けれども巡行が始まってし まえば、後は諸準備が整っているわけですか ら楽しめばいいんだという心境になっており ます。

「マンションの方々」との付き合い方が課題 です。【 松村 篤之介 様 】



浄妙山は六角通りを烏丸から西へ入った戸 数28件の町内で、その内17件に家族の方が住 んでおります。今、我々が祭のことで大変困 っていることは町内で所有の会所が無いこと です。会所には祭の間、御神体等々をお飾り する飾り席を設けるのですが、終戦直後にあ る事情で処分してしまい、今は、町内の何方 かの家にお世話になり飾り席を続けてきてお ります。

ここ約10年は私の家を開放させていただ き、7月13日から1週間、飾り席として皆様 に見ていただいております。

20年前は私も町内では若手でした。

その当時は学生アルバイトにお世話になっ ておりましたが、全て私の家を提供申し上げ、 着替えをしていただいておりました。ボラン ティアになってもずっと私の家で掻き方の衣 装の着替えをしていただいております。又、 浄妙山では草鞋を使用するのですが、その草 鞋のはきかたのご指導もさせていただいてい るほか、現在、その他全て私の家でやってい ただいております。

今年、初めて町内にマンションができるこ とになり、この機会に個人の家を開放してや ることを無くしたいという町内の皆様の意志 もありまして、マンション業者と話をさせて いただきました。

業者の方へは、この由緒ある祇園祭「浄妙 山」の町内にお立てになることを重ね々々ご 説明させていただき、お願いをしてまいりま した。おかげさまで、業者の方も協力的でご ざいまして、設計上から入り口のエントラン スからオートロックの入り口へ行くまでの空 間を広げていただきまして、飾り席にご提供 いただきました。

9月に完成予定ですが、来年からはエント ランスを祭の期間中利用させていただいてエ 夫しながら「飾り席」に利用させていただこ うと思っています。

同時にマンションに55戸の方々が入ってこ られますが、その方々と既存の町内の方々と どのような関わりを持つか、これからの課題 でございます。

私としても知恵をださなくてはいけないか なと思っています。

代々大事にされていること、町家の保存は?

うちの町内には宇治川の橋合戦、平家物語 からの橋合戦の浄妙坊と一階法師の御神体で、 それに関連した国指定の重要文化財の鎧がご ざいます。これは通常一般に出そうとしたら 廻りに学芸員がいないといけないとか、ガラ スのケースに入れないといけないとか、法律 で決まっている通りにやらなくてはいけませ ん。しかし、町内の所蔵でございますのでお 祭りの期間は町内で責任を持って町内で飾る 分には法的の規制は受けないので、できるだ け鎧を出して機会があれば一般の方に真近に ご覧いただくことを続けてきております。

町家の保存について

町家と言う建物は一旦潰したら現在の「建 築基準法」「消防法」では元通り建てることが できないんです。

従って、先人がのこしたものは一種の文化 財だと私は思います。だからできるだけ大事 に次の世代に送る必要があると思っておりま

ある意味において私はお預かりしているの ではないかと思っておりますので、大事に次 の世代へ送らなければならないという気持ち でおります。

「準備は女性でなければ行きとどかない」 【 杉本 節子 様 】



私が生まれた家は町家と呼ばれております。 この建物は京都市の有形文化財に指定され、 建物と杉本家の生活の伝統文化を継承保存す る目的で財団法人が設立され、その財団によ って建物は保存されております。

祇園祭との関わりは、私どもの伯牙山の町 内は矢田町といいますが、うちの町会所も戦 後、諸処の事情により昭和21年に手放してお ります。それ以降、円山公園の収蔵庫ができ るまでの約20数年伯牙山の骨組みから喧騒 品、御神体等一切合切を当家の蔵でお預かり しておりました。同時に当家の店の間を町会 所として「お飾り所」として使っています。 現在、祇園祭山鉾町たくさんある中でこのよ うな密接な関わり方をしている家も非常に少 なくなってきているとも思います。

祭りの準備が始まりますと、家の蔵や、円 山公園の収蔵庫から道具が出され、うちの店 の方に運びこまれます。

そして、いよいよお飾りをする時に神事係 りが参りまして合図の太鼓をンドンと鳴らし ながら町内を1~2周するんです。私は子供 のころから、その太鼓が聞こえてくると、"あ ~、お祭りなんや!"という、本当に心がわ くわくする瞬間を迎えます。

私が女性としての女性からのお話ですけれ ども。私、今もって、なんで自分が女として 生まれてきたのか非常に悔しく思っています。 鉾に乗る囃しかたも男性ですし、お供をする のも男性です。もちろん山を担ぐ人も鉾を曳 く人も男性で、女性というのはいくらやりた いと思っても女である以上なんにもそういっ た場面に参加することができないんです。

ただ、子どもからそういったどうにもなら ない悔しさとか辛抱とかが祭を楽しみに思う 気持ちが大人になってからこまごまとした男 性の方、頭首なり父親の晴れ姿をささえる素 地になってきたのではないかと思っています。

お祭りの来客の備えに対する設えをしたり、 晴れの料理を作って備えたり、華を生けたり、 お香を焚いたり、家の中を奇麗に清めたり、 お客様を迎える。

そして私どもの店の間を清めてお飾りをす る、そういった女性でなければ行き届かない こまごまとした準備も数多くあります。

祇園祭における女性の一番の晴れの瞬間は、 やはり巡行の日の朝、さあ出発だという瞬間 です。

というのは、山が実際に動くところを見る のは1年に一度で、巡行の朝だけなんです。 頭首の上下着付け、晴れの正装をきちんと整 え、そして山も奇麗に飾り付けられ、山も鉾 も曳き手や担ぎ手の方がいらっしゃらなけれ ば一寸足りとも動かないわけです。

その曳き手の方々の装束も女手でこまごま と準備をして整えて、そして「自分の我町」

を自分の家の玄関から見送るといった瞬間を **晴れとして年に一度送っています。**

祭りの時の催し、一品の食材は?

うちの場合は財団として建物を守るという ことになりましたので、今後もずっと「伯牙 山」の飾り所として、伝統を継承していくと いうことになっています。祭りの期間中「伯 牙山」の会所としては店の間は何方でも通り かかりに「伯牙山」の御神体、他を見ていた だけるということになっています。杉本家保 存会としては、14日から16日の3日間、屏風 飾りを有料になりますが一般の方にも見てい ただく機会を設けております。これは2年前 に財団法人京都市文化観光資源保護財団と私 どもの財団と協力して個人の屏風祭の、屏風 飾りを有料で公開しようと始めたもので、今 年も引き続き財団の主催として一般に屏風飾 りを公開することにしております。

祇園祭の時は「小芋を炊いた物」ですとか、 「なすの揚げびたし」とか、季節のものを利用 した物も数多く作ります。祇園祭は「鱧祭」 といわれており、「鱧料理」を食べることにな っているようです。そして、その中の「鱧寿 司」が「晴れ」の料理だと祖母から言われて います。そのため、どういったお料理屋さん でも出されたりすると思います。

しかし、私は祖母から祭りの「お寿司」は 「鯖寿司」であることを聞いておりまして、うち の台所(納戸)には、何時も「鯖寿司」を作る ための「竹の皮」が束にして入れてあったんで す。やはりお祭りの寿司は「鯖寿司」なんです。

女性が险ながら責任を持って担わなければ ならないことは「祇園祭」の時って本当に多 いんです。

自家製で「鯖寿司」を作るということもな かなか難しいことなんですが、私としてはで きるかぎり祖母から伝え聞いているそういっ た「晴れ」の食というものを忘れず作り続け て行きたいと思っております。



「守ろうという意識ではなく行事に生活が同 化している」【 村山 忠彦】



私の家は京都三条大橋の東側で店を構える 「千鳥酢」(村山造酢)で、創業は江戸の中期、 徳川吉宗の八代将軍の時代と聞いております。 しかし、私は江戸時代のことを知っているわ けでもありません。1日々々を大切にするこ とが、将来に渡って店を継承して行くことに なると思っています。

東山三条も祇園祭の区域で、私も氏子でお

千度参りには「祇園さん」でさせていただいて おりました。ところが、東北のはてなのでお祭 りと言いましても御三方のように晴れの場とい うのはほとんど無かったように思います。ただ、 氏子の一人でございますので子供の頃は祇園囃 子を聞くと心踊った記憶があります。そんな子 供にとっての晴れの場は父がお客様を呼びまし て仕出し料理を食べ、そこで接待をする。そし てそれが済めば宵山に寄せていただきました。 しかし、私にすれば中ではなく、外から見てい るお客様の1人である感じがしました。本当に 内側からようやく解らせていただいたのはこう いったボランティア活動をさせていただいてか らでございます。

会社は祇園ですけれども、家は左京に住ん でおりまして又別の御社があります。町内の 皆様はそれをするのが邪魔臭いと言います。 そして今年はやめとこうやというふうな風潮 になっています。

それは「祇園祭」と比べて何が違うかとい うと、考えてしまいます。

私が一番大切にしているのは、やはりお正 月とお盆です。7月が過ぎて8月になります と、うちの父は今まで続いてきた先代の名前 (戒名)を外場に必ず1枚ずつ書きます。そう しますと50枚くらい外場を書かなければなり ません。お寺様は「先祖代々」で良いと言わ れますが、それをうちの父は毎年書いていま す。それを16日の朝には新京極の正願寺様へ 持って行くわけです。そしてお盆にはお精霊 さん(先祖)が我が家に来られるということ で、13日~16日の朝まで、毎日々々お精霊さ んに差し出すご飯等が替わってきます。それ を私の母がやっています。 お正月でも年神様 が来ますからそのお迎えのために鏡餅を10何 個も作って醸造蔵に捧げるわけです。

今、御三方の話を聞いておりまして、私も 長年やっていますと1年間の生活の中にお祭 りの行事が組み込まれているような感じがし ました。それは決して守ろうという意識では なく行事に生活が同化していると申しますか、 生活の中にそういうことが組み込まれている。 そうすることが、「例年通り」あたりまえで、 だからこそ、長続きするんではないかという 気がします。そしてお祭りという風習、なん の為にしているかという「原点」、伝統文化を 守るということは先人の生きた証しを守るこ とではないかなと思うのです。ですから、そ れを絶やすことは先人の生きざまを放り去る ことにも繋がると思うのです。お盆や正月に 同じ事をする、それを違えると気持ち悪くな

そういうことで、お正月とお盆だけは、生 活の中に組み込まれていると思っています。

「例年通り」ということが物事を継承してい く大きな力となっていると御三方の話しを聞 いてそう思いました。

ラウンド 2

●「ボランティア」と の関わりについて。

20年ボランティアとして努めてきたこと?

神事であり、アルバイトとは違う、できる だけ公平感をもって【 村山 忠彦】

今年は32基の中の20基を任されています

が、残りの12基の山鉾様はアルバイトの方を 雇われてされていると思います。我々ボラン ティアとしてはやはり「ボランティア」でさ せていただく場合と、アルバイトの方では見 た目でもどこか違うなというふうに思われた

最近、祇園祭もショー的な部分も増えてま いりましたけれども、あくまで神事なので、 鉾や山についている物は全部神様に繋がるも のであることを心がけ、"曳き綱は跨がない。"、 "「茶髪」ではできるだけ参加しない。" そうい うことなども当初からあり、現在もそのよう にしています。

又、"さわやかに曳っ張っていただく"よう にしています。特に御池通りになりますと、 皆様疲れてきます。そして鉾と鉾の間隔も長 くなってきます。そういう中で曳き手がだら だらしていると観覧されている皆様に"これ が本当に日本三大祭か?"と印象を持ってし まわれたら京都の為にもなりません。

以上のようなことを中心に毎年のオリエン テーションで申し添えております。

それとボランティアの皆様にはできるだけ 公平感を持っていただくように、内部として は心がけています。鉾町の方からはできれば 毎年同じ方に来ていただければ「オリエンテ ーション」もたいしてしなくて済むのではと 言われています。しかし今年、20基をお借り し、そして20年ずっと参加していただいてい る人で「長刀鉾」を1度も曳いたことが無い という人もいます。それでも今年、参加して いただいています。それは、いろいろな鉾、 山を曳いていただくことで、公平感を持って 参加していただけることがボランティア活動 を長く続ける大事なことだと思っているから です。「今年はあなたは何々鉾ですよ!何々山 ですよ!」と参加人数から必要な人数をでき るだけ公平にうまく割り振る作業は非常に大 変ですけれども、できるだけボランティアの 皆様に公平感を持っていただくように、私ど も内部として心がけています。

今後ボランティアに期待されることは?



日本のすばらしさ、京都のすばらしさを体 に焼き付ける活動に【 杉本 節子 様 】

この祇園祭というのはやはり「都の祭」で あって、毎年々々「例年通り」7月17日に巡 行が執り行われることは、この日本の国が平 和であり、そして祭を支えるいろいろな役割 をになっておられる方々が健康でいなければ、

何一つ欠けてもきちんと巡行は成り立っていかないものなんだなと思うのです。

3年ほど前でしたか、海外からの留学生の 方ばかりがうちの曳き手のボランティアとし て来て下さった年がございました。

それは、ヨーロッパからの方もいればアジアからの方もありました。それでいるいるな国、地域の方が祇園祭にボランティアとして参加していただけることはその国の平和といいますか、みんなの健康ということ、その大切さ、幸福さということをその年強く感じました。

このボランティア活動が京都で体験された 方々 "日本のすばらしさ、京都の素晴らしさ" というものを心に体に焼き付けていただく活動になっていけばというふうに願っておりま す。期待しております。

20年のエピソードは?

一所懸命、みんなで参加したいという気持ちを今後も繰り返し【 松村 篤之介 様 】



20年前、私が担当でこの場でオリエンテーションがあり、伊住会長、連合会からは田中会長がお話されたことが、昨日のようにまぶたに浮かびます。オリエンテーションでは皆様町内ごとに集まりまして、当日ご出席の方にこうしてください、ああしてください、とご説明させていただいたんですが、おかげで、20年間大過無く、問題がほとんど無しに現在まで来ております。

これはやはりボランティアの方々の意識、この祇園祭に参加するんだという意識が年々強くなってきている証拠ではないかなと思っております。

ここに17~18年前の資料を持ってきたのですが、昔の書類の中に私がメモ書きしている内容は"朝食をしっかり食べてきて下さい。"とか"神事でございますので「禁煙」でございます。"とか"タオルは必ず持ってきてください。""白いパンツをはいて来てください。""指輪、時計ははずしてもらいます。""貴重品等々はリーダに預けて巡行して帰ってきてから責任をもって配布させていただく"というようなことです。

このようなことを毎年申しあげ、そして、それを実行していただく。困るのは慣れていただいたのに来年、また違う方がおいでになりますので、一からお話しなければなりません。しかし、おかげさまで、今まで、無事故というふうに言っても良いんではないかなと思います。

会長はじめ、皆様がそのようなことを心が けてご指導いただいているおかげだと、感謝 申し上げております。

ただ、時代の流れがあります。 3、4年前に頭の髪をちょっと違えてこられた方がおられ「ちょっと困りますね」と言い、ボランティア本部に代わりのお願いを言おうとした時に、近所のコンビニから黒く染めるものを買ってこられ、「お湯を沸かしてください」ということで、目の前でその1人の髪を黒く染めてしまったということがございました。なんと今の人は変わり身が速いというか(笑)、へっ!と思いました。これは、みんな一所懸命で、なんとか参加したいという気持ちがあるのだとわかりました。大変良かったなと思っています。

ボランティアの担当は大変ご苦労いただいているようでございます。これからも、そのようなことを繰り返しやってくると思います。どうぞ、今後ともお世話になりますが、よろしくお願いしたいと思います。

これからに向けて



内なるものが外へ出て喜ばれるような状態が 目出たい祭になり続ける【 吉田 孝次郎 様 】

我々がボランティア活動を受入れる時に一番心配したことは、安定して毎年々々きちっとしたお手伝いがお願いしてできるのかどうかでした。戦後間なしに学生達の生活が苦しかった頃に祇園祭の曳き手でなにがしかの日当を得ることが学生達にとってはめしを食っていく上で非常に大事で、その頃は集まりが非常にきっちりしていました。それがだんだんとサークル活動の費用をまかなうというようなことになって不安定な要素があった時に我々はこの曳き手ボランティアに助けられたなという印象です。

私の町内では、それまでは学生アルバイトをお願いしていました。その中で非常に熱心なグループが育っておりまして、「六若組」グループを作りまして、年々自分たちの後輩を推薦して10名ほどの北観音山の一番細かな仕事を整えてくれています。このグループが巡行の時にも加わりまして、(プラス)30名のボランティアの方で非常に整然とした巡行ができるのを感謝します。

今日このシンポジウムで「初心に返って原点を」というようなご挨拶もございましたが、私は年々このボランティア活動というのは良くなっていると思います。最初はちょっとって非常に安定している、町内と推進会議のではないですがなことだと思います。ボランティアを受け入れたということは、それまでは各町内を基準にして氏子の祭を強く持っていたわけですが、ボランティア活動を受け入れて20年、だんだんと祭に一般市民の参加が可能になったんだなと思います。この面から言っても町

内、氏子という概念を超えて、京都市民を巻き込んでの祭の姿、そういう要素を持つことは非常にけっこうなことなんだろうと思います。あとの12ケ町がどうなるか分かりませんが、今後もそういう方向が良いと思います。

北観音山の特殊な事情を申しますと北観音 山では巡行が終わった時に「祝い締め」とい う短かな、いわゆる三本締めを囃し方を中心 に行い、1年の祭の締めくくりにしておりま した。

この「祝い締め」は囃し方を中心とした非常に内輪なものとして数百年行ってきたのですが、ボランティアを受け入れて3年めに、ボランティアが町内全員と観客の全てを巻き込んで、この「祝い締め」をいたすようになりました。いわば内輪でやっていたものが外へ出ていったんですね。町内の囃し方以外の役員も永らくその「祝い締め」に参加しなかったんですが、この頃では会合をする度に「祝い締め」というもので締めるようになりました。

皆様からの刺激を受けて内なるものが外へ出ていって、しかも皆様にそれが受け入れられ喜ばれているような状態、こういう状態を今後も維持していくことができれば、目出たい祭になり続けるだろうと思います。

まとめの挨拶

(村山 忠彦)



今日のシンポジウムは少し時間が少なかったかもしれません。しかし、それぞれ山鉾町で生活されている方の思い、又行事的なこと十分お解りになったと思っております。

又、御三方からは今後、私どもボランティアのメンバーに対して非常に激励を頂戴いたしましたことに本当に有り難く思っております。

20年、これから又心新たにしてボランティア活動をさせていただくわけですけれども、やはり、変えてはいけない所と変えるべき所、「不易流行」という言葉がありますけれども、その時代に応じて変えていかなければならない部分、それと変えてはいけない部分がございます。

私ども、当初、2つの理念があると申しました、この理念だけは、変えずに参加される方々にも十分訴えながら時代に即してこのボランティア活動を20年々々と歴史を積み重ねて行ければと思っております。

本日は早朝より御集まりいただきまして本当にありがとうございました。又、御三方には御忙しい時間、御時間を頂戴いただきまして、本当にありがとうございました。

鉾町の皆様方、ボランティアの皆様方、今後もどうぞよろしくお願いをいたしまして、私の閉会の挨拶に替えさせていただきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。

山鉾町から

二十周年に寄せて

郭巨山保存会

「今年から、山舁きはボランティアにやってもらいます」。当時の当保存会会長であり、山鉾連合会会長でもあった 故田中常雄氏が会合の席で例によって決定事項を伝えるように発表された。居合わせた皆も例によるように反対も意 見も挟む余地は無かった。しかし、その心中は、「大丈夫かいな?」「どんな人達が来るんや」と、少しの不安があっ たのが正直なところであった。当山は昭和四一年、せめて御旅所まで、と最後まで舁くことにこだわった山である。

当初の不安は杞憂だった。皆様「無報酬でも」と参加された方たちゆえに、その意気込み、その真摯な態度、祇園祭を知ろうとする姿勢。不安が信頼に変わるのには時間はかからなかった。私達の指示に対して居たらぬ点は思い浮かばない。

この二十年間、無事故なのがその証拠である。

問題があるとすれば、むしろ私達であるかもしれない。



最近の若い方は体格が大きくなり、衣装が入らない方がたまにおられる。衣装新調の 折にはサイズを考慮して作ることを私達は覚えておかねばならない。ただ、あれほどオ リエンテーション等で徹底されておられても企業団体で参加される方の中で、企業の一 員として訳も分からず駆り出された方にその趣旨を理解されておられない発言があった ことは微々たることではあったが、まじめに取り組んでおられる組織として遺憾なこと だったに違いない。

ともあれ、私達のボランティアに寄せる期待と信頼はゆるぎないものとなっている。 委ねる山鉾が増加しているのがその証しである。これからも無事に一緒に御山が都大路 を一周して町会所に戻るように頑張りましょう。よろしくお願いいたします。未来永劫 まで…。

山鉾町の声

【四条傘鉾】

私たちは、皆様の温かいご支援を得て、古い四条傘鉾の伝統と皆で育てた文化を次の世代に引き継ぐことができました。

【八幡山】

いつもありがとうございます。当八幡山は本年初めてですのでよるしくお願いいたします。実際に巡行していただいて貴団体スタッフへは非常に好評でした。なぜもっと早くから参加しなかったのかと言われました。また、貴委員会の姿勢にも大いに賛意を持っています。来年もぜひよろしくお願いいたします。

【北観音山】

委員会より曳き手に注意事項について指示されていますが、これの徹底をお願いする。特に何回も参加する曳き手は要領を「かます」ので注意。

ボランティア打合せ会、及び オリエンテーションにおいて諸注意事項で依頼をしているが特に次の点について要望いたします。「集合時間」に遅れてくる。毎年のことであるが5~6名が当然のように遅れてくる。ひどいときは30分も遅れて来て平然としていた(1名)。これは、毎年ボランティアで他の山鉾に参加して、そこで要領を覚え悪い癖になってきているのではないか、ボランティアの人選の再考を願う。今後の悪影響にならないよう「時間厳守」を徹底的に依頼する。

【郭巨山】

熱心に取り組んでいただいてありがたく思う。ただ、参加企業で当日、訳も分からず「かり出される」社員さんの企業団体があり、趣旨の徹底をお願いします。

【占出山】

近い将来、依頼する事になると思いますのでよろしく!

【保昌山】

献身的にご奉仕下さる「京都・祇園祭ボランティア21」様に感謝いたします。

私共保昌山には、推進会議発足以前より数名の方々がボランティアとして保昌山後援会を作り参加がありましたが、人数の関係で当会のお世話になっております。勝手な行動もあると思いますがよるしくお願いいたします。以上ですので一応満足しております。

【長刀鉾】

引き続き、ご支援よろしくお願い申し上げます。

【菊水鉾】

御奉仕、御協力に感謝しています。

【放下鉾】

大変まとまっており特別に問題ありません。当鉾は今年(平成9年曳き綱を新調使用したため、曳き手全員に手袋をして頂きました。

【油天神山】

毎年良きボランティアにめぐまれて油天神山一同よろこんでおります。

【孟宗山】

初回よりボランティアにお世話になっておりますが皆様大変よく やって下さり、また特に注意することもございませんでした。今 後ともよろしくお願い致します。

【木賊山】

本年度(平成9年)、雨の中の巡行でしたが参加者全員が気持ちよく働いてくれたので来年もぜひまた来てほしいと言っておきました。帰りには当方の気持ちとしてチマキ、手拭、赤飯にジュースをつけて帰ってもらいました。

【伯牙山】

マナーのいいチームで来年も希望いたします。問題はまったくありません。

(平成15年・平成9年アンケートより)

◆年代別担当山鉾数/ボランティア参加者総数

		年代 担业业金			ボランティア	日中の気象状況(8:00~14:00)			
	西暦	7月1	7日	担当山鉾数	参加者総数 (曳き手+旗持ち)	気温℃ (最高/最低)	平均湿度%	天気	
1年目	1984年	昭和59年	火曜日	8基+補助隊	305名 (273名)	29.9/27.1	72		長刀鉾・芦刈山・油天神山・郭巨山・ 浄妙山・保昌山・孟宗山・役行者山
2年目	1985年	昭和60年	水曜日	8基+補助隊	305名 (276名)	31.6/25.7	66		
3年目	1986年	昭和61年	木曜日	8基+補助隊	306名 (276名)	33.5/28.9	71		
4年目	1987年	昭和62年	金曜日	8基+補助隊	306名 (276名)	28.0/25.7	79		
5年目	1988年	昭和63年	日曜日	9基+補助隊	350名 (290名)	29.1/26.2	69		四条傘鉾復活
6年目	1989年	平成元年	月曜日	9基+補助隊	350名 (289名)	32.0/27.0	72	曇時々晴雷を伴う	
7年目	1990年	平成2年	火曜日	8基+補助隊	330名 (275名)	34.3/29.9	65	睛時々曇	四条傘鉾巡行不参加
8年目	1991年	平成3年	水曜日	9基+補助隊	337名 (289名)	30.8/25.6	66	基	
9年目	1992年	平成4年	金曜日	9基+補助隊	331名(300名)	23.2/22.0	89.6	雨	
10年目	1993年	平成5年	土曜日	11基+補助隊	421名 (380名)	24.5/22.4	84.7	雨	放下鉾、北観音山 追加
11年目	1994年	平成6年	日曜日	12基+補助隊	412名 (368名)	35.4/28.3	57.3	晴	菊水鉾 追加
12年目	1995年	平成7年	月曜日	16基	475名 (414名)	30.4/24.3	79.3	曇一時雨	月鉾、木賊山、岩戸山、伯牙山 追加
13年目	1996年	平成8年	水曜日	16基	435名 (399名)	34.7/28.3	60.9	睛一時曇	
14年目	1997年	平成9年	木曜日	16基	450名 (400名)	26.3/25.1	83.6	曇時々雨雷を伴う	
15年目	1998年	平成10年	金曜日	16基	456名 (406名)	39.7/22.5	63.1	晴時々曇	
16年目	1999年	平成11年	土曜日	16基	440名 (402名)	39.8/25.0	58.9	長	
17年目	2000年	平成12年	月曜日	17基	413名 (396名)	32.5/28.0	59.9	曇時々晴一時雨	霰天神山 追加
18年目	2001年	平成13年	火曜日	18基	486名 (434名)	33.1/25.8	68	曇後一時雨雷を伴う	船鉾 追加
19年目	2002年	平成14年	水曜日	18基	491名 (432名)	26.0/21.3	80.4	曇一時雨雷を伴う	
20年目	2003年	平成15年	木曜日	20基	535名 (469名)	29.2/21.6	56.3	晴れ	八幡山、橋弁慶山 追加

◆20年間の参加団体

団体名	参加年度
(社) 茶道裏千家淡交会京都支部青年部 (京都市職員祇園祭曳き手ボランティア会)	S59~62、H1~9
(社) 茶道裏千家淡交会総本部青年部	S60~63, H4, 7~15
青年の船の会京都府支部	S 59、60
(財) 京都ユースホステル協会 (京都市青年の家)	S59~H10
京都府理容青年部	S 59, 60, H1, 2, 12, 13
京都青年赤十字奉仕団	S59~H2、4
日本ボーイスカウト京都連盟	S 59, 60, 62~H8, 10~15
京都近畿青年洋上大学	\$59, 60
近畿青年洋上大学京都府同窓会	S61~H14
京都モラロジー支部青年部 (京都府モラロジー協議会青年活動推進委員会)	S59~H12
京都府モラロジー協議会青年活動推進委員会	H13~15
京都サークル連絡協議会	S59~61, S63~H2
(財) 京都YMCA	S59~H1、4、6、8
車いすと仲間の会	S59~H2、4~15
日本青年海外派遣団京都青友会	\$59, 60
京都市青年団体協議会	S59~H2 S59~H15 皆勤賞!
(社) ガールスカウト日本連盟京都府支部 京都海外協力隊 O B 会	S59~H15 皆勤賞! S60
(青年海外協力隊京都〇B会)	
青年海外協力隊京都OB会	S61~63, H3~8
青年海外協力協会	H10~12 S60, H1
京都曹洞週青年会 日本青年国際交流機構京都府支部	S60, H1 S61~H15
立正佼成会京都協会青年部	S62~H2, 4~15
西北ローターアクトクラブ	\$62
消防署	S62
京都府レクリエーション協会 ((京都市社会福祉施設連絡会)(のびる会) 7.17友の会)	S62~H3, 5~8
京都青年会議所	S62~H15
京都サイクリング協会	S63~H15
京都銀行	S63~H4、6~15
大日本スクリーン/同好会	H4~15
京都経済同友会青年政策研究部会	H5、6
京都ユースアクションネットワーク	H5、13
ワコール興譲会	H6、8、9、10、12
エステック	H8、9
(京都市社会福祉施設連絡会)(のびる会) 7.17友の会	H9~15
京都市職員祇園祭曳き手ボランティア会	H10~15
オムロンソフト/オムロンソフトウェア有志 (京都ものづくり塾)	н10
Bクラブ	H10~15
Meet the Kyoto (京都府国際センター)	H10~12
積水ホームテクノ同好会	H11~15
京都市青年の家	H11
京都ものづくり塾	H12~15
京祭会	H12~15
近畿総合文化祭京都	H12
島津製作所同好会	H13~15
京都府国際センター	H13~15
京都府フロンティア21 推進会議本部	H13~15 S59~H8
(曳き手ボランティア委員会>京都・祇園祭ボランティア21)	
曳き手ボランティア委員会 情報ネットワーク委員会	H9~15
教育文化委員会	
京都・祇園祭ボランティア21	1

●弁加1粉の世段

●参加人数の推移
1984年 [総代55年] 7月17日 (火) 提入邦幹 (5の) : チーフ / 総部 / 代) ※油菓子家途交会京都支部青年部 (11)、青年の船の会京都所支部 (8)、 (7) ※総コース市ステル協会 (19)、京都所理容青年部 (12) 「西刈山」 (19) : チーフ / 西村 / 水都 年本元十年社団 (8)、日本ポーイスカウト京都連盟 (4)、京都府理容青
年郎 (6)、青年の船の会が樹井花郎 (1)、京都府理容青年郎 (14) は、デーフイ田内 (京都) 電荷 (東京 中国
【後行者山】(22) : チーフ/清水/日本青年海外派遣団京都青灰会 (9)、京都市青年団体協議会 (11)、推進会議本部 (3) 【浄妙山】 (25) : チーフ/中田 治/京都市青年団体協議会 (9)、(財)京都YMCA (5)、京都府理容青年部
(10)、(対) 京都ユースホステル絵を (1) 「植助隊」 (80) : 日本幹年海外派団京都育友を (2)、京都モラロジー支部青年部 (5)、(対) 京都ユースホス テル絵を (6)、(対) 京都 Y M C A (13)、青年の船の会京都府王部 (4)、京都近畿青年洋上大 学 (2)、京都西青年団性地議会 (5)、京都東西青年部 (4)、日本
【無線連絡員、旗持ち、荷物書】(9) : (社) ガールスカウト日本連盟京都府支郎 (4)、推進会議 (5) 【記録班、本部管理】(20) : 推進会議 (20)
1885年 [銀行80年] 7月17日 (水) 【長刀幹】 (50) : テーフ / 写印田 乗巻 / 京都等外協力隊 O B 全 (7) 、京都サークル連絡協議会 (11)、青年の船の 会京都府支部 (10)、京都知識青年半上大学 (10)、車いすと作物の会 (11) 【声均山】 (18) : テーフ / 南 明 9月 / 日本 神毛等外流間式将商支を (5)、日本ボーイスカット 京都連盟 (4)、
(注) 茶油菓千家次交会京都交給青年郎(4) [油天神山](21): テープ/結体 省出 (京都子 ラロジー支部青年郎 (12)、京都舟理咨青年郎(2)、様連会議(7) [郭戸山](22): テープ/高田 光治/(財) 京都ユースホステル協会(9)、京都サークル連絡協議会(4)、推進 会議(9)
[保昌山] (25) : チーフ/門田 之克/(財) 京都 Y M C A (10)、京都市青年団体協議会 (10)、京都曹洞通青年会 (5)
(西京山) (15): デーン / 三野 何彦/ 京島青年寺 十字春仕団 (10)、 推楽会議 (5) (投行者山) (20): デーン / 中田 州 / 京都青年時は知識会 (10) 推進会議 (10)
【補助隊】(80): デーフ/和久田 富夫/京都モラロジー支部青年郎(8)、(財)京都ユースホステル協会(16)、(財)京都 Y M C A (11)、青年の船の会京都府支部(8)、京都近畿青年洋上大学(12)、推進会議(25)
【無線連絡員、旗持ち、荷勢書 (9) : (社) ガールスカウト日本連盟京都府支郎 (4)、推進会議 (5) 【記録班、本部管理】(20):推進会議 (20)
1986年 [昭和61年] 7月17日 (木) [長刀幹] (50): チップ 頻原 康生/ 京都モラロジー支部青年郎 (11)、車いすと仲間の会 (4)、京都海外協力 豚の日金 (13)、(物) 京都 YMCA (5)、京都市南年団体協議会 (3)、日本青年国際交流機構
京都府支部 (3), 推進会議 (6) [芦刈山] (15): デーン/門田之友/(材) 京都YMCA (2)、推進会議 (13) [油天神山] (15): デーン/宇山 明彦/京都海外協力隊OB会 (14)、京都サークル連絡協議会 (6)、推進会議 (1)
【郭巨山】 (22) : デーフ/中田 治/京都市青年団体協議会 (12)、継進会議 (10) 【保畠山】 (25) : デーフ/木村 和泉/近畿青年洋上大学京都府同窓会 (12)、(制) 京都ユースホステル協会 (10)、推進会議 (3)
[西元山] (15) : デーフ/石野 行彦 / 京彦青年寿十字春七団 (5)、京志市青年団体協議会 (2)、推造会議 (8) (役庁春山) (22) : デーフ / 海田 光沙 (沙) 京郊コースホステル会 (11)、推会会議 (11) (25) : デーフ / 海山 正男 / (12)
[補助際] (80) ポーパールの大阪 (と) データング (2015年 1977年 197
【無線連絡員、旗持ち、荷勢番、連合会本部 (11): (社) ガールスカウト日本連盟京都府支部(6)、推進会議(5) [記録紙、本部管理](20):推進会議(20)
1887年 [昭和62年] 7月17日 (金) [長刀幹] (50): デーブ (石町 行彦/京都青年赤十字春仕間 (3)、京都市寿年間性協議会 (10)、日本ボーイス カウト京都連盟 (10)、立正収成会京都協会青年郡 (5)、車いすと特間の会 (2)、推進会議 (20)
[芦ウ川山] (15): デーフ/高林 充/ 京都市青年団体協議会 (10)、雑選会議 (5) 協志(中山) [16): デーフ/古林 和恵 / 近議寺中土 上大守京都門商会 (6)、推選会議 (15) [郭巨山] (22): デーフ/西本 良三/青年海外協力隊京都 O B 会 (9)、(財) 京都ユースホステル協会 (10)、推選会議
【保昌山】 (25) : チーフ/井原 秀隆/(財) 京都ユースホステル協会 (10)、京都市青年団体協議会 (4)、西北ローターアクトクラブ (1)、推進会議 (10)
【孟宗山】 (15) : チーフ/桑山 正男/(社) 茶道裏千家淡交会京都支部青年部(5)、消防署(5)、推進会議(4)【後行者山】(22) : チーフ/五十嵐 秀夫/(財) 京都YMCA(7)、京都モラロジー支部青年部(4)、推進会議(11)

(1977 m) (

```
- ン (6)、曳き手ボランティア委員会 (6)
チーフ/工籍 純一/ 京都ユースホステル協会 (20)、大日本スクリーン (3)、曳き手ボランティア委員会 (7)
     1988年 [昭和63年] 7月17日 (日)
[長刀神] (50): テーフ/別報田 幸三/日本青年職際交流機構京都府支部 (10)、京都青年会議所 (10)、京都
サイクリング協会 (5)、(社) 新選載千年派交流総本部青年部 (5)、京都銀行 (10)、推進会議
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 チーフ/工器 終一/ 京都コースポイア hbm (40)、ハロヤハン イン・アラ会会 (7) チーフ/同村 線一/ 立正佼成会京都協会青年部 (8) 車いすと仲間の会 (5)、曳きチボランティア委員会 (7) 第 邦義/ 京都市社会福祉施設連絡会 (のびる会) (15)、曳きチボランティア委員会
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【菊水雜】 (15)
                                                         10)
デーフ/林 真司/日本ボーイスカウト京都連盟(10)、京都銀行(5)
Fーフ/岸本 良彦/(財) 京都ユースホステル協会(12)、日本青年国際交流機構京都府支部
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  フ/高橋 昌男/(社) 茶道裏千家淡交会京都支部青年部連合会 (10)、(財) 京都ユースオ
                                                              【保昌山】 (25)
   【孟宗山】 (15)
【役行者山】(22)
【浄妙山】 (25)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   1998年 [平成10年] 7月
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                17日(金)
2 / 関同 李継/京都市職員祇園祭鬼き手ボランティア会 (21)、日本ボーイスカウト京都
(10)、大日本スクリーン同好会 (7)、オムロンソフト (2)、鬼き手ボランティア委員会
   【四条傘鉾】(15)
【補助隊】 (80)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                (10) 人は中かりプラヴェ (11) 人はロンフト (11) 大き (11) 大き (11) 大き (11) 大き (11) 大き 大 (11) 大き 大 (11) 大き 大 (11) 大き (11
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   [芦刈山] (15)
[油天神山] (21)
[郭巨山] (22)
[保昌山] (10)
                                                          (公青年節 (7)、日本青年国际次記機構が約府及即 (0)、が約 青年が丁ナ争は131 (0)、水和市 (
*リエーション協会 (2)、禁運会議 (4)
| 荷物番、連合会本部] (20) : (社) ガールスカウト日本連盟京都府支部(15)、推進会議
     (5)
【記録班、本部管理】(40):推進会議(40)
   【孟宗山】 (16)
【役行者山】(22)
【漁婦山】 (25)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               委員会(7)

7) 特益 高売/車いすと仲間の会(7)、大日本スクリーン(8)

27 (集合前 機数/化計 系道庫千家窓天全総本部等非部(28)、青年海外協力協会(3)、大

スクリーン(13)、現ちずポランティブ委員会(6)

スクリーン(13)、現ちずポランティブ委員会(70で会)(8)、鬼ちずポランティブ委員会(20)

7 (山口 策楽が 永市社と海社議院連絡会(70で会)(8)、鬼ちずポランティブ委員会
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【四条傘鉾】(15)
【放下鉾】 (50)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  [北観音山] (30)
[菊水錐] (15)
                                                                )
フ/保科 秀行/近畿青年洋上大学京都府同窓会(8)、推進会議(7)
フ/竹内 文成/京都曹洞通青年会(9)、理容青年郎(10)、(社) 茶道裏千家淡交会京都支
   【孟宗山】 (15)
【役行者山】(22)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【木賊山】 (20)
【岩戸山】 (31)
【月 鉾】 (50)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 7 / 榎並 恭夫 / B クラブ(17)、曳き手ボランティア委員会(3)
7 / 田中 榎 / 京都市議員 経職祭曳き手ボランティア会(23)、大日本スクリーン(9)
7 / 雨宮 章 / Meet the Kvoto(40)、京都モラロジー支部青年郎(5)、曳き手ボランテ
                                                           ーノブリア、2007 (2008年7月1日 (日)、在20月半旬 (日)、(日) 本選手であた火災命及

井市部部合会(2)

・ファイ (日) 2007 (日) 
     [浄妙山] (25)
   【四条傘鉾】(15)
【補助隊】 (80)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                    (台牙山) (13): チープ / 帰腹 敷結 / 京都サイクリング協会 (11)、曳き手ボランティア委員会 (2)
信頼連維結員、 勝持ち、連合会本部 (15): (社) ガールスカウト日本連盟京都府支部 (12)、オムロンソフト (3)
[記録末 ・ 本郷歌間 (35): 曳きチボランティア委員会 (35)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  1999年 (東海11年) 7月17日(4) 
 (第7月間 (6) : - 2 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 7 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 2 \pi 8 + (8999 - 17) 、 + 9 - 2 \pi 8 + (8999
     (5)
【記録班、本部管理】(35):推進会議(35)
                                                               (7日 (火)
- ブノ阿部 邦養/京都府レクリエーション協会(6)、京都サイクリング協会(5)、京都銀
(10)、日本青年国際交流機構京都府支部(5)、近畿青年洋上大学京都府阿窓会(5)、理容
                                                       7 / *** / 曳き手ボランティア委員会(5)
7 / 日霞 顕三 / 京都青年会議所(9)、京都サイクリング協会(2)、曳き手ボランティア
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【保昌山】 (5)
【孟宗山】 (16)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             【役行者山】(22)
【浄妙山】 (25)
【四条金牌】(15)
   [浄妙山] (25)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   [放下鉾] (50)
   [北観音山] (30)
[菊水鉾] (15)
[木陂山] (20)
[岩戸山] (31)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   [月 鉾] (50)
   1991年(平成3年)7月17日(水)

(長77時)(50) : テーク(4日 5円 / 近番寺年末上大学京都府司舎会(4)、京都寺年会議所(6)、日本寺年間

東元温晴宗政府王廷(6)、京都衛行(5)、指名会議(33)

[東天神山(22) : テーク(4日 日本) / 京都 日 2 - 大阪青年廷(1)、京都 ユ スホステル 絵会(5)、京都報
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【伯牙山】 (13) :
【無線連絡員、旗持:
                                                   【郭巨山】 (22)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   2000年 [平成12年
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |17日 (月)
|アク/室谷 好治/京都モラロジー支部青年部 (5)、京都ものづくり整 (8)、曳き手ボラン
|ア委員会 (12)
|アノ長谷川 義翁/(社) 茶道裏千家淡交会総本部青年部 (10)、曳き手ボランティア委員会
     [保島山] (25)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             [油天神山] (21)
[郭巨山] (22)
[保昌山] (5)
[孟宗山] (16)
[役行者山] (22)
   【無線連絡員、海持
       【無線連絡員、旗持ち、荷物番、連合会本部】(1
(5)
【記録班、本部管理】(30):推進会議(30)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  [250011] (25)
   【四条傘鉾】(15)
【放下鉾】 (50)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  [日本明章:11] (30)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  [銀戸山] (22)
                                                               )
-フノ井県 毛樹/日本ボーイスカウト京都連盟(15)、(財) 京都YMCA(9)、京都銀8
                                                                 【保昌山】 (25)
   【孟宗山】 (15)
【役行者山】(22)
   [浄妙山] (25)
                                                         総総計(9)
- 一ノ 帰職 被表/ 京都サイクリング協会 (7)、大日本スクリーン (8)
- 一ノ 「親族 上京 / 日本青年国際交流機構京都府支郎 (35)、京都青年会議所 (9)、京都銀行
21)、推進会議 (15)
荷物部、連合会本部 (21) : (社) ガールスカウト日本連盟京都府支郎 (16)、大日本スク
   【四条傘鉾】(15) :
【補助隊】(80) :
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               17日 (火)
2 / 紫成 仁彦/日本青年国際交流機構京都府支部 (25)
2 / 砂糖 画和/京都銀行 (15)
2 / 砂糖 美夫/日ララ (10)、京都銀行 (10)、曳きチボランティア委員会 (1)
2 / 龙客 美夫/高野 イワリング協会 (7)、横水ホームテラク/同野会 (13)、曳きチボラ
     1993年(平成5年)7月17日(土)
「長刀前」(50): デース/南京 老/日本青年高原次清積高低原大器(10)、青年等外沿片原京都の会(15)、
(長刀前)(50): デース/南京 老/日本青年高度(10)、海・丁と特別の会(10)、 着金色機(5)
「戸外山」(5): デース/南京 海内・京都川・ジェル会(5)、 九日本スクリン)(9)、推会金機(1)
(国大平山(2): デース/南京 海内・京都川・ジェル会(5)、 九日本スクリン)(9)、推会金機(1)
(国大平山(2): デース/南村 南永/(11) 茶油菓子家次交会系を支部青年都途合会(14)、青年等外の対策を新
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          皮貝鈴(に)
比川 正延/京都サイクリング協会(5)
畑中 誠司/京都銀行(10)、近畿青年洋上大学京都府同窓会(4)、曳き手ボランティ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【保昌山】 (5)
【活宗山】 (16)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【役行者山】(22)
【浄妙山】 (25)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          (2)
日中 穣/京都市職員祇園祭曳き手ボランティア会 (20)、曳き手ボランティア委員会
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 [郭巨山] (22)
[保昌山] (25)
[孟宗山] (15)
[役行者山] (22)
[浄妙山] (25)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  [北観音山] (30)
                                                               (8)
フ/ハ木 俊介/日本ボーイスカウト京都連盟(14)、京都経済同友会青年政策研究部会
     [四条余餘] (15)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   [菊水鉾] (15)
[木陂山] (20)
[岩戸山] (32)
                                                                     ノハ本 成川/ ロキハー・スカノテ 和地温 (19)、 赤部地川内の太田中 40(10)、大田本
一ン (15)、推議金護 (2)
/高田 光治 / 京都ユースホステル協会 (15)、京都青年会護所 (10)、大日本スクリー
(1) 流道 東京家次会京都安善青年節連合会 (10)、京都ユースアクションネットワ
   【北観音山】(45)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   [月 鉾] (50)
   【伯牙山】 (13)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                ア季島会 (1)
2/ 河村 韓 - プロ正反成会宗都協会青年郎 (14)、曳き手ボランティア委員会 (4)
2/ 万木 孟人/ 京総会 (12)、京都庁フロンティア21 (12)、京都サイクリング協会 (9)
6会本期 (20): (比) ガールスカウト日本連盟京都府天郎 (14)、曳きチボランティア
会(2)、京都府モラロジー協議舎青年活動推進委員会 (2)、京都ユーズアグションネット
& (2)、京都府モラロジー協議舎青年活動推進委員会 (2)、京都ユーズアグションネット
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【殿天神山】(19) :
【船 鉾】 (19) :
  [記録系 - 表世年曜] (30) - 張忠元郎 (32) - (日本元本 (32
                                                                                                                                                                                                                                                                                                 テープ / 簡単 雲原 / 茂藤サイタリンツ | 世代 | 103、 京島モーベルハスアル20回 (10)、東地東町 | カーブ / 付出 | 内域、元献モラロラー 文語等を (12)、 集色機 (13)、 (24) 未満業于美元公会 (25) ホーラン/ 区田 | 株式が / 日本ボーイスカウト 京都書 (13)、 (24) 未満業子 大会 公表 (25) 末 香港が得た (24) 末 香港 / 日本 (25) 末 (25) 日本 (26) 末 (
   【四条傘鉾】(15)
【放下鉾】(50)
   [出版] (38)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                【菊水鉾】 (15)
【細助線】 (75)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【放下鉾】 (45)
     【無線連絡員、旗持ち
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【北観音山】(30)
     (5)
【紀録班、本部管理】(21):推進会議(21)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【菊水鉾】 (15)
【木賊山】 (20)
                                                                 1995年 [平成7年] 7月1
【長刀鉾】 (50) : チー
日本
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  [岩戸山] (32)
[月 鉾] (50)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                ンティア安興会(3)
フ/井上 結身 / 京都銀行(15)
フ/田中 様/京都市職員祇園祭曳き手ボランティア会(16)、曳き手ボランティア委員会
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【伯牙山】 (15)
【服天神山】(18)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             - フ/坂尻 仁彦/日本青年国際交流機構京都府支部 (24)、京都青年会議所 (9)、近畿青年
大学京都府同窓会 (4)、曳き手ポランティア委員会 (3)
- フ/ 二球 敬子/(社) ガールスカウト日本連盟京都府支部 (14)、情報ネットワーク委員
  (例7前川 (22): チーフ/8日 功能/系統を1912)・支護権を括(3)、旅店ユースルネテル会(17)、指金会

(日か山 (22): チーフ/8日 18日 (日本等為当私加索区の(22): 指金会権(3)

(日本会権)(15): チーフ/8日 18日 (日本会権)(16): チーフ/8日 18日 (日本会権)(16): チーフ/8日 18日 (日本会権)(16): 日本会権(16): 日本会権(17): 日本会権(
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  【無線連絡器】(20)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   #アプレディア21 (3)
[理事付き係員 (6): 京祭会 (6)
[西条頼可整副 (6): 京祭会 (6)
[記録紙・ボランティア本節智] (26): 教育文化委員会 (6)、京都・祇園祭ボランティア21 (20)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   2003年 [平成15年] 7月
[長刀錐] (20) : チー
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               17日 (木)
フノ海同 研史 /(社) 茶道裏千家次交般地本部青年部(13)、車いすと仲間の会(4)、曳
ボランティア委員会(3)
フノ松浦 真人/ 京都市観員祇服祭曳きチボランティア会(13)、曳き手ボランティア委員
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 【油天神山】(21)
【郭巨山】 (22)
【浄妙山】 (25)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                【北観音山】(30)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    5)
/ 門宮 章 / 京都府フロンティア21 (12)、曳き手ボランティア委員会 (3)
/ 田中 穰 / 京都市職員長國祭史ミ手ボランティア会 (13)、京都銀行 (7)
/ 閏回 玄雄/ 庁郭市市副系県祭中きモボランティア会 (19)、京都銀行のづくり勢 (9)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【菊水鉾】 (15)
【木陂山】 (20)
【岩戸山】 (32)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     反員会 (4)
日本青年国際交流機構京都府支部 (29)、京都銀行 (15)、京祭会 (5).
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  ・ホフンティア委員会 (1)

/ 宇津 隆教/立正佼成会京都協会青年部 (15)

/ 室谷 狩治/京都府モラロジー協議会青年活動推進委員会 (15)、曳き手ポランティア

p (3)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【伯牙山】 (15)
【暇天神山】(18)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             / 多 英夫/ 京都サイクリング協会 (11)、大日本スクリーン同好会 (5)、横水ホーム
会 (14)、車いすと仲間の会 (5)、曳き手ボランティア委員会 (5)
尾 洋右/ 京祭会 (10)、京都市職員任服务虫き手ボランティア会 (9)、曳き手ボラ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                    [船 鉾] (40)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【八幡山】 (20)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   【橋弁慶山】(18) :
【無線連絡員】(20)
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          長員会(1)
級民 仁彦/ 日本青年国際交流機構京都府支部(12)
/二塚 教子/(社) ガールスカウト日本連盟京都府支部(14)、情報ネットワーク委員
                                                  1997年 [平成9年]
【長刀鉾】 (50) :
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  )
2/上田/京都ものづくり整 (5)
27):チーフ/矢杉 直也/情報ネットワーク委員会 (2)、京都ものづくり整 (11)
```

14

・ 委員会 (2) 「団条命制] (15) : デーブ/本多 英夫/京都サイクリング協会 (15) [故下録] (50) : デーブ/報氏 仁彦/日本青年国際交流機構(京都府支部 (31)、エステック (7)、大日本スクリ

祇園祭 20周年座談会

日 時: 2003年9月30日(火) 18:30~20:00

会 場: 裏千家センター応接室

出 席: 関根秀爾様、村上利行様、服部晃佳様、橋本一郎様、林 肇様、楠 勝好様、

和田淳司様、榊原敏恭様、石野行彦様

司 会: 石野行彦 配付資料: 石野作成年表

【祇園祭ボランティアの原点】

► 石野 ここに「京都青少年活動推進会議」(以降、 推進会議と称す) 発足から今日の「京都・祇園祭ボラ ンティア21」に関係する年表を作ってみました。

この資料で20年前を思い出していただき、座談会の切っ掛けになれば幸いと思っています。

ではまず、20年前に千(以降は「伊住」に統一) 政和 会長と行動を共にされてこられた淡交会の関根さんよ り、祇園祭曳き手ボランティア活動の発案から開始に 至るまでのエピソードをお話しいただき、本座談会の 口火とさせていただきたいと思います。

▶ 関根 昭和57年頃から、京都市の河内(弘)課長らとともに京都市の青年団体の集まりを創ろうじゃないかという話をしておりました。それが推進会議ですね。そして、昭和58年に推進会議が結成され、昭和59年に祇園祭の曳き手ボランティアが始まります。加盟する青年団体間の横のつながりを活かすためには、従来の連絡協議会的な機能だけではまとまらない。また、力を発揮することができない。

そうしたことを伊住政和会長と話し合っている折、推進会議に加盟する団体の若者達が一つになるために具体的な事業への取り組みを進めようということになった。

その為には、京都という土地柄と密着した事業をしなければならないが、どういった形で密着すべきか。

京都らしいものとドッキングするということで、京都の三大祭や送り火などの案が対象としてあがりました。 しかし、すでに時代祭や送り火等に関わっている後援会や保存会の人達がおられました。そんなことを話し合ってる時に、祇園祭が候補にあがってきたのです。 山鉾町は、経済的に豊かなところが多かったのですが、

山鉾町は、経済的に豊かなところが多かったのですが、 だんだんとビル化が進み住民が減ってきていて、山鉾 巡行の曳き手となる若い世代も少なくなってきており、 その曳き手捜しに困っていました。

幸いにも千 宗室お家元 (第15代) が山鉾奉賛会の会長をしておられましたので、早速、当時の山鉾連合会の田中 (常雄) 会長のところへ相談に行きました。「祇園祭はもともと町衆の祭であり、京都の若者が支えて頂くのは有り難いことだ」と大いに賛成してくださり、田中会長が「やろう」と仰ってくださった。

それがきっかけです。そして、田中会長から『南観音山』の小島 (新三) さんをご紹介いただき、そのお話をさせていただきました。すると、「神事に参画するという意識がなければいけない!」と。当時は、若者の長髪がはやっていた頃で、「長髪は困る」「綱をまたいではいけない」などなど、神事の詳細が数々…。つまり、見た目にもりりしい若者の参加が必要だ、ということなのです。

そんな献身的な若者が今時どれだけ集まるだろうか? と少し不安になりましたね。

又、最初は"山"だけが候補にあがりましたが、やっぱり"鉾"も曳かせていただきたい!という希望をもっておりました。

その時、『長刀鉾』町の美術商が裏千家とつながりがあり、「喜んで…」とお申し出いただきました。

「やった!第1回目から『長刀鉾』が曳ける」ということになって、これは大成功だと思いました。

ところが、京都新聞に曳き手ボランティアの応募に関する内容を報道してもらいましたが、応募者の出足が悪くて困りましたね。

当初は300人くらいの応募が必要なのに、200名ちょっとで低迷していました。

そんな時に、林さんが朗報を持って来てくれましてね。 その日 (7月17日) が月曜だったので、林さんが理容 美容組合ヘアプローチしてくれて「70名、集まった ぞ!!」と。

「林さんが神様みたいに見えましたね~。最終的に305

名になり、補助隊も編成することができました。

最初は、『南観音山』も受け入れられなかったですね。 神事ということで、なかなか理解されなくて…。

その後、推進会議は"車いす駅伝"や"成人式"等に 主体的に参画することになるのですが、この祇園祭へ の参画が推進会議の発展の基礎を築くようなものにな ったのは確かです。

多くの方がいろいろな苦労をされました。

京都市会議場で"くじ取り式"が行われるのに併せて「お祓いを受けよう!」ということになり、当日「何人来てくれるだろうか」と私はそればかりが心配でした。しかし、大半が来てくれて「もうひとつの吉符入り」として、京都新聞が大きく扱ってくれて推進会議に大きな弾みになった。

無事すんでよかった。緊張感の中でスタートした覚え があります。

► **石野** 年表を見てほしいのですが。最初の実行委員 長は林さんでしたね。

▶林 成り行きでそうなった感じでした。

▶服部 私は、1回目は『長刀鉾』の曳き手チーフでした。2回目は事務局でしたが、1回目は"鉾"を曳く経験をした方が良いと言われ、『長刀鉾』を曳かせていただきました。

▶林 お祓いのある「オリエンテーション」の日が 日曜日でね、理容美容組合からの参加者は日曜日が休 めないので、この時、山鉾連合会の人に「大丈夫かい な」と言われたことを覚えています。

結局、お祓いに来たのは代表の5名くらいで、「みんなに伝えますので、絶対に大丈夫ですから…」と説得しましたよ。

▶関根 1回目の時、KBS京都がテレビ中継していましてね。その時のことでこんなことがありましたよ。 テレビ中継のアナウンサーが、補助隊の動きを見て「途中で離して、無責任ですね」と言ったのです。「補助隊の役割を理解しない発言だ」と抗議し、訂正するようにお願いしたのですが、訂正はなかったですね。

▶林 ラジオ放送でもいいから訂正してくれるよう に言ったのですが、訂正してくれませんでしたよ。

▶楠 最初の年、"裃"を着たのは木村 (安輝) さんでしたか?YMCAで着替えて"くじ検め"に行きましたね。

林さんは2年目でしたか。その後、私も裃来て、市長の 隣の席で"くじ"を受け取らせていただきましたが…。

▶関根 伊住会長は裃も持っておられるのですが、着るのは初めてでしたね。映画で見たことはあるのですが、いざ着るとなると、背中を膨らませるようにするのでしょうが、どうやって着るのかもう一つわからない。私に「知らないのか?」と聞かれましたが、わかりませんでした。

最終的には「こんなもんやろ!」と適当でした。(笑) それから、祇園祭は河原町御池までが神事であること を初めて知りました。御池通りは観光対象のようです。 何でわかったかというと、「トイレへ行くのは御池過ぎ たら好きに行ってくれ」と言われてわかったのです。

▶服部 昔は、烏丸御池でお稚児さんが降りていましたね。そこから各鉾町へ散っていく。今は新町御池です。 御池通りでは"ちまき"は配らない。

▶関根 もっと昔は四条寺町を下がっていました。そして、松原を西へ烏丸に向かって、寺町も看板をはずして"鉾"がぶつからないようにしていた。寺町松原にあった交番(今は郵便局?)は、毎年、祇園祭のたびに取り壊して、また作っていました。(笑)



辻回しの下手なところは家を壊したこともあったようですね。「うちの軒を壊しやがって…」って感じだった。 (学)

辻回しは狭い路地で一気にやっていたと思う。 昔は、河原町通りのように何回もやっているスペースが無かった。その頃の寺町通りは舗装されていなくて、あらかじめきれいにならされていましたよ。

巡行が終わって帰ってきたら、鉾を組んでいる柱と柱の間があいていることがある。それを見て、鉾町の方が「今年は下手やった」とか、「湿度が高かったから」とか言ったりしていました。

▶村上 祇園祭ボランティアの面白いところは宗教の違うYMCAがボランティアスタッフの本部になっていることかもしれませんね。YMCAのメンバーは曳き手ボランティアには出てこないのですが、その建物を本部として提供してくれている。今もそれを続けているのは京都らしいところかもしれませんね。

巡行の朝は6時前にあけてくれて、レストランで朝食を取らせてもらっていました (6時前に来る役員だけだったのかな)。

伊住会長から「何か、弁当でも買って本部(YMCA)へ差し入れしておくように…」という指示を受けましたが、あの頃コンビニ等がそんなに無くて、どこで買っていたんでしょうかね。

その後もジュース等を買って差し入れておりますが、 今と隔世の感がありますね。

▶林 最初に田中会長宅へ呼ばれて伺った時、「えらいことになった」と思いましたよ。しかし、伊住会長はやる気満々でしたね。当初は深見(茂)さんも吉田(孝次郎)さんも反対派だったようですが、今や山鉾連合会ではボランティアべた誉め・・。

最初はそんなに続かないと思われていたようですね。 折角、大学の体育会といい関係ができているのにそれをつぶしてまで…。ということだったのでしょう。 各山鉾の担当者には何度も足を運んでもらって、他の 鉾町との関係を保ってもらいました。車方には、「ボランティアなんかに曳けるか!」と言われたこともあっ

▶関根 女性の参加も新聞に載りましたが、車いすと仲間の会の長橋(栄一)さんから「障害者もぜひ参加させて欲しい」という話もありました。

たようです。

障害者の社会参加としても、少しずつ開くことができましたね~。

▶楠 最初は『長刀鉾』だったと思います。障害者をケアする人もいたので、5~6名程度でしたが…。

▶ 関根 新聞にも大きく報道されて、やる気満々で前に突っ込んで行ったという感じでしたよ。最初から、山鉾町の信頼を得てやってきたわけではないですからね。

▶ 服部 最初の『長刀鉾』のチーフは私にとって名誉 でした。

► 石野 はじめのオリエンテーションは「弥榮中学校」 が会場だったようですが…。

▶楠 最初は場所がなくて困りました。弥栄中学校が空いていることは分かっていましたが、交渉は大変でした。その頃、中学校が荒れている時代で、休日の学校は外部にはシャットアウトされていましてね。日曜日に教職員を出さないといけないなどと、OKが出るまでに相当時間がかかりました。

八坂神社の常磐殿を借りるまでの数年、「弥榮中学校」 から八坂神社へ"お祓い"に行っていました。

▶ **石野** 最初の4年間は、今から考えるといろいる面白いことがあったようですね。

今の車輪のロゴマークは昭和61年から使っているようですが、それまではIYY(国際青年年)のマークを使っ

ていました。京都銀行のタオルに印刷されていて、それが曳き手ボランティアの記念品になっていました。

▶村上 記念品はテレホンカードもありました。確か、 服部くんのお父さんに鉾の絵を描いていただいた。 そ もそも車輪のマークはどこで出来たのでしょうね。 小 野田利隆 (故人) さんがデザインしてくれたのかも…。

記念品のタオルは、最初の2~3回は伏見信用金庫だったと思います。それがだめになって京都銀行にアプローチした。

京都銀行はよく快諾してくれたと思っていますが、その時も楠さんの京都銀行との人脈が生きましてね~。

- ► 石野 "エキサイティング・キョウト エキサイティング・カルチャー" というキャッチフレーズはどこから出てきたのでしょうか。
- ▶関根 "エキサイティング・キョウト エキサイティング・カルチャー"というキャッチフレーズは千(伊住)会長が考えられ、標語として第1回目の議事録にも載っています。
- ▶石野 今、32基のうち20基を曳いています。半分越えた時には「とうとう来たな」と思いましたけど…。
- ▶服部 最初は8基からはじまった。▶関根 目標は全基でしたか?(冗談)
- ▶楠 近年、マンションが増えて住民も増えている 町内もあります。
- ►石野 『放火鉾』『北観音山』は人が少なくなってきて曳かせていただくことになった。それがちょうど10年目だった。

平成5年には、オリエンテーションの時点でボランティアが100名足りなかった。その頃の推進会議の会長はYMCAの仲(祥介)さんで、相談に行きました。多分、仲さんはその時は心臓が爆発しそうだったと思います。このときは火曜だったかもしれません。土・日曜日の応募は多いですがね~。

急遽、各団体の担当者を集め「5人づつ集めて下さい。」 とお願いしました。

前の晩になんとか集まった、という状態でした。

▶橋本 それでも当日来ない人がいて、私も急遽補助 に入って、着替えようとしたのですが、太っているの で猿股が入らなくて困りました。(笑)

「パンツではだめですか」と聞きましたら、「神事なのでご遠慮下さい」といわれ、事務局に戻りました。(笑) ▶ 石野 補助隊がなくなったのは『北観音山』が追加された年でしたでしょうか。補助隊の思い出は…。

▶ 楠 私は補助隊の荷物番を2~3年やりました

朝は早いし、荷物番ですからなんにもすることないし、 補助隊の帰ってくるのは遅いし、退屈でしかたがなかった。

- ▶ 石野 当日になってやっと、これが必要とわかることがいるいるありまして、ボランティアが着替えた後の荷物番もそうだったです。祇園祭の先頭の旗を持ったのは、最初は楠さんでしたね。
- ▶楠 そうです。私は、曳き手ボランティアに関わってから、初めて祇園祭をゆっくり見るようになり、気が付いたら、7月17日は自然に仕事を休みにしていました。(笑)

山鉾町は17日は小学校は休校だったし、京都銀行なども 全店休みだった。昔は京都をあげての祭だったですよ! 祇園祭のために鉾町は仕事していたし、観光客は暑く てクーラーの利いている百貨店や商店などに逃げ込ん でいた。「かき氷」やビールなどが飛ぶように売れてい ましたね。最近はぜんぜんダメみたいですがね。

- ► 村上 推進会議の曳き手ボランティアが20年続いた 隠れた原動力が3つあると思います。
- ・一つは、YMCAが毎年本部を提供してくれていること。
- ・ 二つ目は、淡交会が事務局になって応募者の面接を したり、諸般の管理を担当してきたこと。

三つ目は、和田さん、石野さん、中井(敬二)さんなどのメンバーがずっと続けていること。

頭が下がりますね~。この3人が居なくなれば、祇園 祭の核がなくなるような感じがすると思いますよ。

▶ 村上 ボランティアの面接には毎回ややこしいのがいっぱい来たりしましたね。

それから、外国人は最初から受け入れていましたね。



- ▶楠 坂尻(仁彦)さんが所属する国際交流機構が動員力一番で、多い年は30人くらい参加していますね。 観衆が「外国人が曳いてる」と言ってましたよ。外国 人はグループとしてかためて曳いていましたからね~。
- ▶ 石野 今や、外国人が単独で応募してくるようになりました。その時は坂尻さんにお願いしてまとめてもらっていますが…。なかには国に帰っても、またリピートでこの時期に併せて再訪して来る人もいます。
- ▶関根 はじめの頃、「山鉾を曳いてるときに記念写真のポーズとらないでほしい」と言われましてね~。(笑)ほかに「前日はできるだけ水気を控えてください」とか…。
- ▶楠 巡行終了後、鉾町によってはお酒を振る舞ってくれるところとか、単に「さよなら」というところとか、お土産くれるところもありました。(笑) それは鉾町によって違いますね。

『保昌山』は場所柄ひっそりしていて、お酒もって用意 して待っていてくれる。(笑) 縁結びの神様ですね。

- ▶石野 服部さん、平成2~4年の資料をお持ちでは ありませんか?その頃の資料がほとんど無いのですが、 その時期で何か記憶されていることはありますか。
- ▶服部 1回目のオリエンテーションは確か山田(行園)さんだったと思います。2回目以降は私が説明していたと思うのですが…。一度、探してみます。
- ► 石野 村上さんと橋本さんの名前がほとんど出てこないのですが…。
- ▶村上 我々は事務局専門だった。
- ▶橋本 淡交会では青年部の組織改革を行っていた頃でしたので、私はほとんど事務所にいなかった。そこで石野さんのやる気が出るように、淡交会から正木(景子)君という美人の秘書をつけましたね。石野さんは正木君に電話しまくっていたようで。(笑)
- ▶石野 私も事務局やりはじめで何もわからなかった 頃で、淡交会にかなり電話をしていましたね。

でも、橋本さんはほとんどおられなくて、正木さんと 相談しながらやっていました。正木さんにはよくやっ ていただきました。

▶橋本 確か、ボランティアが100人足りないと聞いたのはあの頃ではなかったでしょうか。私はどこかへ出張していて、京都への帰りに正木君に電話しますと、「なんとか達成しました」という報告を受けたことがありましたね。

その時には、学生にも京都以外の青年部の会員さんに も声をかけましたよ。

- ▶ 石野 なんで足りないのか不思議だったですが、和田さんには店を閉めて従業員の皆さんにも参加していただきました。
- ►橋本 出入りの業者にも、みんなに声をかけた。それこそ50歳を超えてる人にも…。
- ▶ 石野 前日だったか、立正校正会の植田(恭司)さんから夜遅くに連絡があって、すぐに事務局の正木さんに電話しましたよ。あの頃は毎日、夜遅くまで仕事をしておられましたから…。
- ▶村上 今、ボランティアは集まっていますか?
- ★楠 ホームページも立派なものが作ってあるし、 十分広報もできている。むしろ断っているくらいです。
- ▶ **石野** そのほかに、山鉾連合会とのかかわりで思い 出すことはありませんか。
- ► 服部 はじめの年、新聞記事などの紹介があって 『長刀鉾』は責任重大ですごくシリアスな状態で曳きま したね。

理解のある人が会長でよかったと思っています。 我々も山鉾連合会にはものすごく気を遣っていましたね。

- ▶石野 京都にはいるいろな意味で「あそこを怒らすと知事の首が飛ぶ」などといった話がありますね。そういう感じでしたか?
- ▶ 服部 平成5年のことですが、岸本(貴一)さんに

言われて"ねんりんピック"の前夜祭で祇園囃子を提案したことがありました。ところが、京都府は「山鉾連合会は難しい」と判断して壬生狂言を準備していたそうです。京都府から「今回は出番がありません」との回答がありましたのでキャンセルしたんですけど、結局出番が回ってきました。そんなこともあって、京都府も山鉾連合会にえらい気を遣っていましたね~。

- ▶林 推進会議から祇園祭ボランティア21へ継承され、これだけ実績もできたし、大変大きな組織になっているので、我々ももっと自信を持ってしっかりしていかないといけないと思います。同時に、誤解されると困るのですが、我々はもっと力を持ってもいいのではないかなと思います。例えば交通整理などの要求に振り回されてはいけないのでは…。
- ▶ 石野 あれは交通整理でなく、あくまで山鉾巡行の ための沿道整備です。約8名のボランティアが山鉾連 合会事務局のボランティアとして事務局長の指示で活動を行っているのです。
- ▶林 交通整理は、我々には何も権限も無い訳ですから、何かあったときは心配ですね。
- ▶石野 交通整理には警察が出ています。我々としては、山鉾連合会事務局がやっておられる範疇のものを手助けしている形です。しめ縄切りのピケ張りも同じようなものですね。
- ▶ 服部 最初の頃は、本部 (YMCA) に役員が詰めて 事故への対応に最も気を遣いましたが、今まで大きな 事故はなかったのですか?
- ▶楠 巡行が終わって、銭湯で転んで怪我をしたというのがありました。でも、たいしたことなくて良かった。最初の頃は欠員が出た時に、本部から役員が出向くようなことがありましたが、今はなくなりましたね。
- ▶ 榊原 ここ数年、当日のキャンセルは多いときでも 8人程度で、最近は殆どないですね。そういう状況も あって、平成7年に補助隊はなくなりました。それま で補助隊から補充していました。
- **▶服部** 『菊水鉾』などは軽いので、補助隊はいらなかった。

その他でも、見せ場のある四条河原町はいらないと言われるところが多かったですね。

- ► 石野 最初の頃の議事録に女性の扱いのことが書かれていますが、女性参加の相談はしていたのでしょうか?
- ► 服部 ガールスカウトからの要望もあって、推進会 議として山鉾連合会に依頼したことがありましたね。
- ▶ 石野 宮下(貢介)さんは連合会からの指示を伝達 する役割で、その連絡役にガールスカウトが参加する ようになったのではなかったでしょうか?

2年目頃から4名程が無線を持って走り回っていたようですが。ガールスカウトはやはり初年度はいなかったと思います。

▶服部 補助隊も山鉾連合会の指示で動くほか、山鉾連合会と各山鉾の橋渡しなどを担っていました。そして、その連絡役としてガールスカウトが付いていたように思います。いつも走っていたのを覚えていますが…。

補助隊は複数の鉾に関われるので、その魅力があって 補助隊を希望する人たちも現れましたね。補助隊もい つも走ってましたよ! (笑)

- ▶ 橋本 ガールスカウトの長谷川 (鈴子) さんは最初 からいたように思うのですが…。
- ▶楠 湯茶の担当に何人かいましたよ。
- ▶ 石野 長谷川さんは各山鉾との連絡用に10円玉を入れる巾着袋を作ってきてくれたことがありますね。あの巾着はどこへ行ってしまったのでしょうか? (笑)最初はビニールの金魚袋でしたが、白い布で良くできていました。

同じように、直前にならないとわからないものがあって、オリエンテーションが常磐殿から常磐新殿に移るときに山鉾番号を掲げるものを1週間前に作った記憶があります。急遽、近所の大工さんに事情を説明して無料で作ってもらいました。

► 石野 平成3年に京都銀行がアンケートを取ったことがあるのですが、それをまとめた資料を推進会議にいただきました。

京都周辺と近畿圏と首都圏で京都銀行に出入りしている人や取引先に対し、祇園祭に対する意識調査をされたものです。例えば、「日本の祭と聞いて、どんな祭を思い浮かべますか?」とか「祇園祭に来るのは日帰りですか?」等々、けっこう細かい内容で面白いものでし

た。記念誌に載せますので楽しみにしてください。 平成2~4年頃の特筆すべき出来事は何か記憶にあり ませんか?

▶橋本 資料は事務局を担当していた淡交会で保管していたのですが、推進会議を解散して必要なものは三事業を継承した各組織体に引き継ぎましたので、残っていたものは5年を経過した後、私が指示して処分させてしまいました。すみません、私の責任です。

▶ 村上 いつももらっている記念品のタオルはどこからの協賛という記録は残っているのですか?

► **石野** 私の家に最初の物からおいています。タオル にそれぞれ年号が印刷されていますから。

▶服部 テレホンカードはいつ頃だったのですか?

▶石野 私が『長刀鉾』のチーフをやった年の記念品がテレホンカードだったのを覚えています。3~4年目くらいだと思いますが…。

▶村上 振り返りますと、現会長の村山(忠彦)さん、和田(淳司)さん、石野さん、楠さん、林さん、中井さんはずっと続けていただいている訳ですね。

好きでないとなかなか出来るものではないが、できるだけ若い世代へつないでいくことも考えないといけない。今、若い人が入ってきていますか?

和田さん、モラロジーでは、次の若者は入ってきていますか?

▶ 和田 すでに実務は若い人が行っていますよ。どこから切り替えるかが問題ですが。

▶石野 最近、もともと推進会議の加盟団体におられたメンバーが自分の会社でボランティアを募り、会社の名前で曳き手ボランティアとして参加している人が増えてきています。一時期、岩手県から参加している人もあったし、沖縄県の医師が3年くらい続けて参加していることもありましたね。彼等は交通費や宿泊費等をどうされているのか、と思ったことがありました。▶橋本 やはり、日本の三大祭に参画したいと言う

▶ 橋本 やはり、日本の三大祭に参画したいと言う "思い"なんでしょうね~。

▶ 楠 やはり、三大祭のなかでは祇園祭が一番優雅 やね!また、ボランティアの受け入れなど、唯一オー プンなのは祇園祭くらいではないでしょうか。

▶ 和田 そういう意味では、このボランティアによる 運営システムはすごいと思いますね。近代的かもしれ ません。

▶橋本 祭はもともと"社"を中心とした地域の人たちのものだから、それを越えて一般にボランティアを公募しているのはすごいことだと思いますね。それだけでなく、外国人にも門戸を開放していてすばらしいことだと思います。

► 和田 それだけのシステムができているからすごい。当初、淡交会で作られた内容が今もそのまま継承されています。

例えば、リーダーだけを集めて2回の研修を行う。それから全体のオリエンテーションをやって、お祓いを受け、氏子の気分になって町内に溶け込んでいく。このシステムはすごいですよ!

► 石野 それらは日程的にも当初からほとんど変わっていないのです。

▶ 和田 他の "祭" が衰退しているといわれる中で、 神事であることと我々が臨時の氏子になっていくとい ラシステムが作られているのはすごいと思いますよ。

▶石野 平成6年に「日本都市青年会議」が京都で行われ、その中で"祭"に関する分科会がありました。 その進行役を努めさせていただいたのですが、その中で「次の世代にどうやって継承しますか?」という質問が最も多かったですね。

日本都市青年会議ですから、大きな"祭"のことだと 思うのですが、それでも後を継ぐ若者がいなくなって きて困っているということでした。

その時のまとめは「親がしっかり子に伝えていく」み たいな結論だったと思います。

▶和田 こういう伝統的な行事は不合理なのがいいのでしょうね。"祭"を合理的にしていったら永く続かない。巡行も7月17日という予め決められた日に毎年行われるところに意味がある。言わば、不合理は合理を越えていくものなのでしょうね。だから1000年以上も続くのだと思います。

▶楠 そうそう、"体育の日"も10月10日だから意味があった。

■ 橋本 確かに、合理的に連休が取れるように融通を

利かせていくと、なぜ"体育の日"が設けられたのかわからなって、10月10日の意味を忘れてしまう。

▶ 和田 やはり、淡交会ではじめに作ったマニュアルでスタートした、その内容がよかった。

► 石野 6月の最終日曜はオリエンテーションと決まってますからね~。

▶ 服部 それも7月1日の"吉符入り"、7月2日の "くじ取り式"の前にやるから意味がある。

▶村上 祇園祭の活動は、推進会議では3月頃から開始していますよね。

▶橋本 推進会議では、1月に"成人式"、2月に "車いす駅伝"、7月に"祇園祭"でほぼ半年間にかた まっていました。

従って、祇園祭は3月頃から準備にかかっていたし、 11月には成人式の準備を始めていました。その他にも いろいろな事業が錯綜していた時期もあった。

推進会議の事務局を担当しているなかで、パブルがは じけて、ボランティア活動そのものが見直される頃に は予算的にも厳しい状況があり、京都市や京都府との 絡みが多かっただけに支援・協力を求めたこともあり ました。

▶林 大阪へ"鉾"を曳きに行ったこともありましたね。御堂筋パレードの時期だったか、IYY (国際青年年)の事業にひっかけて行った記憶がありますが…。 "こどものフェスティバル"は府に好評だった。それを成功させたから、推進会議を発展的に解消して新たに事業中心の組織作りに到った一面があったのかもしれない。

▶村上 事業が増えてくると、各事業の決算が大変でした。各事業とも、それぞれチームに分かれて個別に動いていましたから、決算のための協議や作業等を行うとなると連日夜1時~2時までやっていましたね。

▶楠 推進会議の活動は京都府にはおもしろくなかったかもしれない。我々は独立して事業を行っていましたから。

▶石野 推進会議を発展的に三分割するときに、祇園祭ボランティア21だけは予算を確保する手立てがなくなってしまいました。どうやってお金を作るかを考えなければなかった。しかしながら、予算もない手作りボランティアだからこそ、今日まで続けてこられたのかもしれない。

▶楠 安易にNPOにすると行政等との紐付きになってしまい、主体性という意味では苦しんだと思います。▶橋本 それでも組織の運営資金くらいは自活できるようにしないといけないと思う。紐付きになってはいけないかもしれないが、ある程度のものはないと継続



▶ 石野 最近の傾向ですが、インターネットにアクセスがあって、祇園祭ボランティア21の運営方法に関心があるようです。近く、山形県河北町の役場から研究員8名来ることになっています。また、質問として

- ・立ち上げの経緯と運営体制
- 昔と変わってきた点
- ・ 現在抱えている課題

など、まさに我々がたどってきた20年の歴史を尋ねる 内容が寄せられています。

▶林 "車いす駅伝"を受け入れている旅館の女将さんから伺った話ですが、修学旅行で京都へ来られた 静岡県の中学校の先生に曳き手ボランティアのことを 話したら、「ぜひもう一度聞かせて下さい」と言われた そうです。

▶石野 栃木県の茂木町の祭(祇園祭)の担当者からの問い合わせもありました。今や日本全国の各方面から注目されています。

► 服部 他の祭への参加と、我々の曳き手ボランティアとは祭への関わり方が違う。また、曳き手ボランテ

ィアは御輿を担ぐのに近いし、しかも祭へ主体的に参 画するという姿勢があります。

▶楠 準備段階から参画し、曳き手ボランティアとして参加するメンバーへの意識付けを行っていることも大きいでしょう。各チーフもそれぞれ鉾町の人たちと会って話し合いを行っているから真剣に教えてくれる。さらに7月17日以降も鉾町の人たちと町で会っても挨拶(名前は出てこないが顔は覚えている)するし、つながりが持てているのです。

▶村上 成功の秘訣は、一人ひとりの曳き手が「あれを曳いた」という誇りをもつことが大きいね。

►橋本 この20年の間に、若者のボランティア活動に 対する認識が変わってきているようにも思えます。

ですから、20年前と同じ条件が揃ったからといって、どこの祭にも曳き手ボランティアのような体制ができるかというと、そうではないと思います。やはり、そこには"人"を得ることが出来たからでしょう。推進会議には、それぞれの団体をとりまとめる"人"がいたから出来たことだと思うのです。つまり「人づくり」リーダーを育てることが大事だと思うのですね。例えば、それぞれの地域に一人のリーダーを育てる為に、国は青少年育成事業として"青年の船"を実施してきた。たった一人のリーダーを育てるために大きなお金を掛けてきた訳です。

推進会議には役者がそろっていたのは確かですが、そこに "人" を得ることで新しい歴史ができてきたことを考えると、山形県も栃木県もまず "人づくり" を心がけることが大事だと思います。それも、まずは 1 人のリーダーを育てる。そのリーダーに感化された若者が仲間の輪が広がっていく。そこに事業に対する機運が盛り上がっていく。

推進会議から祇園祭曳き手ボランティア21の歴史も、たった一人のリーダーから始まり、多くの仲間達が参画してきた。山鉾連合会の役員さん方が理解を示してくれたことも大きな要因ではあるが、そうした広がりの中で新しい歴史が創られてきた訳です。

最近の傾向として、国や行政の行う青少年育成事業は、お金を掛けるなら「広く浅く」という方向性にあるようだが、一人のリーダーを育成する方が効果を上げるのではないだろうかと思っています。それこそ、"不合理は合理を超える"と思います。

▶ 和田 伊住政和会長という中心があって回っていた。京都においても、いるいろな形のものが協議されたが、なかなかまとまらなかった。それを伊住政和会長がまとめていったんですよね。

▶橋本 現在は、人づくりが国づくりにつながっていくというところへ意識がいっていないと思います。

▶石野 組織、企業についても然りと思います。マニュアル化していくと小粒になる。人づくりを先行していくべきところはあるでしょう。

▶橋本 野球の松井やサッカーの中田も日本のチーム にいたら日本のレベルの高いところで終わってしまう。 より高いレベルでブレーすることで、感化を受けた多 くの若い世代が育ち、結果として日本のレベルが高く なると思うのです。

▶服部 本来、推進会議が目的として持っていた"人づくり"は、それぞれの加盟団体において大きな役割を担う人材の育成にありました。

今、祇園祭ボランティア21という組織になって、この検討課題をどう捉えていくのか。また、無償の投資をどうリターンしていくか、その培ったノウハウをどう活かしていくのかを知りたい。そういう意味では、ここで経験したことがそれ以外の場でどう生きているのか、意思確認をしておくことも必要かも…。

▶ 和田 我々は500人、600人のボランティアを機能させるノウハウを持っています。これはたいへんな自信であり、誇りとなっています。

► **服部** また、このような機会を定期的に設けて、 折々に確認することも必要だと思いますね。

▶楠 日本各地からの問い合わせについても、自信を持って我々の行っていることを伝えて行きたいですね。

► **石野** 本日は3時間半に渡るご意見とお話を有り難うございました。

お話の中にもありましたように、30年、40年の節目にはまたこのような機会を設けられるように頑張って行きたいと思います。

本日はありがとうございました。

以上

巡行当日の裏方ボランティアの 2 日 | 極

■巡行前日■

ここは「ボランティア本部」となる「京都YMCA」の会議室です。

役員、STAFFによってボランティアに渡す記念品(タオル)やリーダー用の備品が山鉾別に袋詰めされています。 又、ガールスカウトが巡行監視に使用する無線、携帯電話も確認を終え、何時でも使える状態になっています。

■巡行当日■

②朝6:00【役員集合】

「京都YMCA」の「ボランティア本部」に役員が集合です。

そして役員は順次前日に確認を終えていている備品のセッティングを行い、本部始動に備えます。(まだ、みなさん寝ぼけ眼で、ねむい様子・・。)

⊕6:30【各山鉾リーダー集合】

「おはようございます!!」各山鉾のリーダーが順次集 まってくる時間です。

各山鉾のリーダーの点呼が開始され、リーダーはテーブルの上に置かれている「山鉾名の書かれた袋(記念タオル入り)」の前に座わり開始の合図を待ちます。主な役員、スタッフを含め総勢約40人。

●6:40【ボランティア本部開始】

「おはようございます!」進行係の中井様のかけ声をともに、いよいよ1日の開始で~す。

伊住政和相談役がご挨拶されます。 (お出でない場合はメッセージが届けられます。)

会長の挨拶、次に実行委員長からの諸注意、中井様からの連絡徹底確認がてきばきと行われます。

◎6:50【リーダー出発】

リーダーは「今日1日よるしくー!」の声で所定の荷物を持ち担当の山鉾町の集合場所へ向かいます。 早い鉾町で7:00集合のところがあるが、その場合はサブリーダーに任せています。

◎7:00【山鉾町ボランティア集合確認開始】

そして、ボランティア本部では8時過ぎまでの約1時間、担当の各山鉾リーダーからボランティア集合完了の連絡を待ちます。

集合時間はあらかじめオリエンテーション等で確認されていているのですが、もし欠員や時間に間に合わないメンバーが出た場合は本部から予備要員を向かわせる手はずになっています。

毎年なかなか連絡が来ない所があり、本部では一日で一番不安な時間 を過ごします。

【無線準備】

ボランティア本部のある「京都YMCA」 は無線の本部にも使用されます。

ボランティア本部ではリーダーの出発 を見送った後、無線本部の準備に取り かかります。

場所はYMCAビルの屋上です。フェンスに日除け/雨避け用のシートを貼り、シート下にはテーブルが置かれ、そして無線機が2~3台と巡行記録用の用紙が設置されます。

又、緊急事態の連絡用に携帯電話もあります。毎年、ここを担当するのは中井委員長と久保田様ですが、暑い日も雨の日も、風の強い日なんかは用紙が飛び、最悪です。

【巡行準備】

各山鉾町ではメンバーが慣れない衣装

や足袋、草鞋を履くのに懸命の時間です。

ボランティアは巡行前の衣装合わせでお互いを見合い、学芸会や時代 劇の役者にでもなった気分で…。

【連合会本部担当出発】

連合会本部情報連絡要員、連合会理事付き係員、新町沿道整備を担当するメンバーが本部の連絡事項と無線機/携帯電話を確認し、YMCA出発!

他メンバーの待っている「連合会事務所」へ移動します。

⊕7:30【ガールスカウト集合】

女性達が白いシャツとブルーのスカート(夏用ユニフォーム)で現れ ます。約15名。

これが無線を担当するガールスカウトの集合。

ガールスカウトはあらかじめ「情報ネットワーク委員会」のオリエンテーションで無線の操作を実地で学んでいます。そして自分の持ち場もすでに決められています。

山鉾巡行の順路の辻々には時間管理と 安全監視の為に無線連絡の要員が配置 されるのですが、それが彼女達の役割 です。

巡行の時間管理は各ポイント(スタート、鬮改め、四条河原町等7~8カ所)に無線を配置し、通った山鉾を本部に連絡することで巡行全体の状況の確認を行います。

又、巡行の先頭、中間、最後尾にも配置され、緊急事態が発生した時の為にいち早く、巡行の先頭を行く理事長(責任者)に連絡が行くようにしています。そして事故の状況を伝え、判断を仰ぎます。

その重要な連絡担当をするのがガールスカウトで、唯一女性が巡行の 一部で活躍している部分です。

【連合会本部ボランティア】

連合会本部にもボランティアがいます。彼らはYMCAではなく「連合 会事務所」に集合となっています。

連合会の旗持、連合会本部テント湯茶係、連合会本部情報連絡要員、連合会理事付き係員、新町沿道整備を担当するメンバー。(リーダーだけはYMCA)



旗持は30分で着替え、8:00には出ます。行き先は先頭「長刀鉾」のさらに前です。(後祭は北観音山の前)

少7:45【ガールスカウト始動】

会長の挨拶と情報ネットワーク委員長の諸注意後、即無線等の準備に かかります。

要員は各ポイントに約2名、1名は無線を持ち、1名は記録に専念。 要員は全員、専用の記録ボードを持ち、又、緊急時の為の専用の携帯 電話も持ちます。

◎8:00【無線機と携帯電話の確認】

本部の無線担当者より最後の確認を受け、自分の持ち物の再確認、又、各自の携帯電話の番号や全員の名前と配置を記載した表が配布されます。

【山鉾スタート】

この頃、各山鉾町では準備が終わり、巡行のスタートに向け最後の点 検を行っています。

ボランティアもわくわくした心を抑えきれない興奮状態です。

(ただ、一番遅い町内は9:30スタートとなる。緊張しながらも時間的にはゆっくり行こうや!って感じかな?)

【理事付きボランティア】

理事付きボランティアは8:00に産業会館前にて各担当の理事と顔合わせを行います。

(本日もよろしくお願いいたします。)

連合会の理事の方は巡行中の担当の区間を巡行状況の監視を行い、山鉾に対する巡行の指示を行います。

ボランティアはその理事の指示に従って行動します。

理事付きボランティアは理事間の連絡が取れるように専用の携帯電話 を所持しています。

ூ8:15【無線配備】

無線担当者がYMCAを出発する。行き先は自分の持ち場ですが、メイン通りを通らずあえて人通りの少ない裏道を行きます。

又、移動中に無線の状況確認を確かめる為に、一度、本部と連絡をとることを忘れません。(手順通り!)

【連合会旗持ち出発】

巡行の先頭を行く旗持ち担当は全員で5名(先の祭3名、後の祭2名) が着替えを終え出発!

(よ~し、やるぞ~!)

【連合会本部へ出発】

連合会本部担当の湯茶接待担当、無線情報担当が設営の「備品」を持

ち、「連合会本部」が設置される新町御池のテントへ出発。台車に「テーブル」や「お茶のタンク」「吸水用のタンク」「バケツ」「コップ」等を運びます。

総勢15~16名ですが、備品が細かくて、これがけっこう大変なんです。

◎8:30【四条烏丸ボランティア集合】

巡行のスタート位置が四条烏丸。

巡行先頭の"連合会理事長"の所に、連合会旗持ボランティア、巡行 先頭当の無線ボランティア、と四条烏丸の無線担当ボランティアが顔 を合わせをし、9:00の巡行のスタートを待ちます。

30分間は退屈ではない!

目の前は大勢の観客とスタートの準備に集まってくる山や鉾でまさに 何かが起こりそうな感じかも?

沿道ではない、その真ん中にいるわけで、時間など忘れてしまいます!

他方、無線配置の遅い所(烏丸御池)でも9:00にはYMCA本部を出発し、本部の情報を受けられるように配置に着く。

又、この頃、多くの各山鉾は巡行の為に四条通りをめがけてすでに移動を開始しています。

【連合会本部設営】

御池新町の北東の角に「連合会本部」が設営されます。

本部テントの関係者はスカイブルーの「専用ユニフォーム」を着用します。

背には「京都祇園祭STAFF」」と祇園祭ボランティアの「ロゴマーク」が書かれています。

連合会本部テントは巡行の終着点! 巡行を終えた山鉾の役員の方々や関係者が最後のご挨拶に立ち寄られる場所です。

そして全ての山鉾の曳き手や、関係者に冷たいお茶を出します。

湯茶係は机と椅子を並べ、お茶のタンクをセットします。お茶用の水 は毎年、新町を上がった「高橋様宅」で調達しています。

【第二の無線本部】

新町御池の「連合会本部」では巡行の状況が一目で分かる大きな「巡行ボード」と無線の設置が開始されます。

立ち寄られた役員の方は必ず巡行の状況確認の為に見に来られます。 実はこの大型ボードは「ボランティア」で作成されたものです。一度 見てやって下さい!

巡行の状況は全て無線で入ってきます。情報は他の警察や消防より速く、巡行が止まっているとすぐ分かります。

「京都YMCA」のボランティア本部でも同じ物が設置されています。

ூ9:00【巡行スタート】

「祇園祭101です。ただいま長刀鉾出発!」。

無線からの声になぜかみんなが一瞬緊張します。

待ちに待った、本番開始。きっと何かが起こりそうな予感のする瞬間です。(起こっては困るのですが・・)

【ボランティア本部屋上】

ボランティア本部屋上では「無線本部」担当者2名が急に忙しくなります。

無線を聞き、それを復唱することで全ての無線担当者が巡行の状況を把握します。

そして、「専用記録用紙」にはその「時間」と内容の記録を行います。 (時間記録は後で連合会へ提出します。)

【ボランティア本部一安心】

ボランティア本部では巡行がスタートすると一安心です。

各山鉾のボランティアの人数確認と対応も終え、残すは巡行中に事故 が起こらないように祈るだけ。

屋上の無線本部からは逐次巡行の状況が無線で入り、巡行ボードの変化に監視の目が行きます。

●9:30【注連縄切りのピケ張り】

本部役員 $4\sim5$ 名が「注連縄きり」のピケ張りにその場所へ向かいます。

(必要以上に前に出てくる報道のカメラマンのピケです。)

①10:00【四条新町担当出発】

四条新町担当(約8名)が着替え(法被姿です!)を終え、いよいよ活動開始となり持ち場に出発。

①10:30【四条新町到着】

四条新町担当は事務局の指示で沿道の観客整備に動きます。

ここは巡行の順番に山鉾がそれぞれの辻から出てくる場所で、通常の 沿道整備とわけが違います。

当然、警察にも依頼はしていますが、山鉾の内容が分かっている我々の活動がどうしても重要な役割となります。

◎11:00【南観音山出発】

「祇園祭101、南観音山スタート!」。

四条烏丸の無線担当 (ガール) は南観音山のスタートを本部に連絡します。

先頭「長刀鉾」がスタートして約2時間後、ようやく「南観音山」が スタート。

四条烏丸の無線担当はこの後、南観音山の後ろに付き、次のポイント「鬮検め」まで行きます。この時は「巡行の最後尾」の連絡担当です。

そして「鬮検め」の担当者と合流した時点で本部に到着と「無線の閉局」を連絡します。

無線担当はこの時点(次のポイント到着)で任務終了です。

①11:20【連合会理事長本部到着】

巡行先頭の連合会理事長が新町御池の連合会本部テントに到着します。 理事長に最初の冷茶が差し出されます。

いよいよ巡行先頭の長刀鉾が到着します。

本部テントでは「湯茶接待担当者」が到着した鉾の関係者にお出しする冷茶の準備にかかります。

①11:30【長刀鉾到着】

本部テントでは湯茶担当が「冷茶」をトレーに乗せ、関係者に出して 回ります。同時にテント奥では大忙しで次々にコップに冷茶を入れ後 補充の作業にとりかかっています。

【各山鉾は新町を下り町内へ】

その後、次々と巡行の山鉾が新町御池に到着。各山鉾は一休み後、新町通りを下り各々の町内へ帰ります。

冷茶入りのコップは紙です。

飲み終わったコップは本部で回収。空コップはすぐにゴミ袋に入れられますが、すぐに一杯になります。

【四条新町ボラ再始動】

四条新町担当は、「長刀鉾」到着のこの時より四条新町で「戻り鉾」の 為の沿道整備を開始します。

この時は朝とは逆で、新町を四条に出てきた各山鉾が自分の町内へ帰る為に四方へ方向を変えます。

この時も沿道が危なくて!大変です。

【理事付きボランティア新町錦で・・】

新町錦、ここも四条新町と同様に「戻り鉾」の沿道整備で大変なとこる。(がんばれー!!)

ここは理事付きボランティアが担当の理事と対応する場所です。

理事付きボランティアは担当理事の持ち場で南観音山が通過するのを 確認し理事と共に新町錦へ移動してきます。

①12:00~14:30【各山鉾:町内帰着】

順番の早い山が町内へ帰着します。これで巡行終了!

これから14:30までの2時間30分、各山鉾の担当リーダーから町内 到着の連絡がボランティア本部に入ります。

本部はこれを聞いてやれやれ……、リーダーはボランティアの怪我等がないか状態の確認と着替えを終え、町内の担当者に挨拶をして「YMCA」のボランティア本部に帰ります。

ூ12:30~15:00【ボランティアリーダー帰着】

「ボランティア本部」に到着したリーダーは、1日の様子や鉾町からのコメント等をアンケート用紙に記載し任務終了! (後は各団体の打ち上げ現場に直行かも・・?)

₾13:30【南観音山新町御池到着】

これが巡行の最終です。

北観音山は南観音山の到着を待っています。そして、全ての山鉾が帰るのを見て、最後に北観音山が新町通りを南下して町内で帰ります。 これが最後本部で見届けなければならない最後の内容です。

③14:00【連合会本部撤収開始】

連合会本部では無線担当が北観音山の新町南下をボランティア本部に連絡。そして撤収にかかります。

連合会本部の撤収が終わるとボランティアメンバーは朝集合した「連合会事務局」へ帰ります。

【ボランティア本部無線撤収】

「ボランティア本部」では「連合会本部」の撤収完了連絡を受けると本 部の無線撤収にかかります。

(後の連絡は携帯電話でよろしくーーー!)

【ボランティア本部】

ボランティア本部は帰ってきたガールスカウトで賑わっています。 巡行の話題で満載ってとこですかね~~~、全然疲れてないみたい! この時はすでにガールスカウトの無線は任務終了で全て閉局されています。

②14:30【連合会本部撤収終了】

連合会本部リーダーと無線担当者は無線機と携帯電話、使用のユニフォームを確認し「ボランティア本部」に帰ります。 巡行ボードも撤収です。

● 15:30【ボランティア本部】

仕事を終えたボランティアリーダーがぞくぞくと「ボランティア本部」 に帰ってきます。

みんな、少し焼けてるかな~?

本部役員はお世話になった「山鉾町」へお礼の挨拶に出発します。ちょっと大変!!

③16:00【ボランティア本部撤収完了】

担当リーダーと全員の帰着を確認し終えた本部は、「京都YMCA」にお礼の挨拶をして巡行全ての日程終了です。

この後、打ち上げするか否かは雰囲気次第で~す。

皆様、ご苦労様でした―――!

過去の新聞記事 紹介

















昭和61年(1986年)6月30日

政和会長)が組織している。都青少年活動推進会議(伊住

祇園祭のボランティアは京

月曜日

ョンが事実上の吉符入り。



◆京都銀行・祇園祭アンケート

下記の記録は平成3年に(株)京都銀行様において取材されたもので、京都 銀行広報部様より「京都青少年活動推進会議」へご提供いただいた報告資料 です。尚、本誌掲載用に一部変更しています。

京都の偉大なるパワーを再確認!

京都・大阪・首都圏のアンケート調査から

京都銀行(頭取 井上太一)様では、日本三大祭の一つとしてその歴史の 長いこと、祭事がほぼ 1 カ月にわたってくりひろげられる大規模なものであ ること、祭の参加者、見物客も我が国の数多い祭事の中で最右翼にあること、 等々から、日本の祭の原点ともいえる京都祇園祭について京都市域、大阪・ 近畿圏、東京を中心とする首都圏の人々(大阪・近畿、首都圏はサラリーマ ン及びOL) を対象にアンケート調査を実施しました。

結果は以下に詳報いたしますが、調査の三地域におしなべて見る、京都祇 園祭の知名度の高さ、また祭への参加状況は群を抜いて高く、更に祇園祭の 持つイメージが京都観光へ多くの人々を誘う大きなパワーになっていること など、京都祇園祭の持つ偉大な力に感銘を覚えます。同時に、このような伝 統的民族遺産を現代に伝えてくれた先人の偉績に我々京都人は心から感謝し、 受けついだこの祭事を次代に託す努力を重ねばならないと痛感する次第です。

1 調査地域及び対象/有効回答収数/性別

	調査対象	有効回答数	回収数(%)
京都市及び周辺	京都市及び周辺地域に本社を置く企業82社の従業員 京都銀行市内店、周辺市域店に来店の主婦	599	42.6
大阪・近畿圏	京都銀行大阪支店のお取引先企業 25社の従業員	382	55.4
首都圏	京都銀行東京支店のお取引先企業 32社の従業員	323	64.6
合計		1,304	50.3

2 調查方法

郵送及び調査票手渡しによる留置調査

平成3年6月10日(月)~6月17日(月)

4. 標本構成/住居地区

京都市	方及び周辺	構成比(%)	大阪・近畿圏	構成比(%)	首都圏	構成比(%)
京都市	ī	64.7	大阪市	14.6	東京都3区	52.3
	北区	10.5	その他大阪府下	50.0	東京都下	13.6
	上京	7.1	神戸市	4.9	浦和市	2.1
	中京	8.1	その他兵庫県下	11.6	その他埼玉県下	13.1
	下 京	4.3	京都市	3.5	千葉市	11.0
	左 京	6.9	その他京都府下	5.9	その他千葉県下	5.8
区別	右 京	14.3	大津市	1.4	横浜市	2.1
	東山	4.0	その他滋賀県下	1.1	合計	100.0
	山 科	10.6	その他	7.0		
	南	9.0	合計	100.0		
	西京	11.2				
	伏 見	14.0				
京都市	周辺地域	35.3				
合計		100.0				

5. 性別/年齢別(%)

	男性	女性	合計	10才代	20才代	30才代	40才代	50才代	60才以上	合計
京都市及び周辺	39.7	60.3	100	3.5	31.2	20.0	22.4	14.8	8.1	100
大阪・近畿圏	53.4	46.6	100	_	33.0	29.0	22.2	12.4	3.4	100
首都圏	43.9	56.1	100	ı	52.3	24.8	16.2	5.0	1.7	100

6-1. 調査の内容

まず最初に、大阪・近畿圏、の人々に京都祇園祭が全国の数多い祭事の中 でどのようにイメージされ、位置づけられているか聞いてみました。

Q.	Q、全国の祭事の中で思い浮かべるものは? 三つ上げてもらいました。							
	大阪・近	[畿圏	首都	巻				
	祭事名	回答数	祭事名	回答数				
1	祇園祭	284	祇園祭	146				
2	天神祭	197	ねぶた祭	139				
3	ねぶた祭	161	仙台七夕祭	94				
4	葵 祭	65	三社祭	83				
5	博多どんたく	63	博多どんたく	47				
6	時代祭	60	札幌雪祭	28				
7	仙台七夕祭	53	葵 祭	15				
8	札幌雪祭	30	竿灯祭	14				
9	岸和田だんじり	27	10票以下省略					
10	阿波踊り	22						

Q.	Q、全国の祭事の中でこれまで見物したものは?						
	大阪・近	〔畿圏	首都圏				
	祭事名	回答数	祭事名	回答数			
1	祇園祭	164	三社祭	71			
2	天神祭	126	仙台七夕祭	63			
3	時代祭	38	祇園祭	47			
4	葵 祭	25	ねぶた祭	31			
5	仙台七夕祭	21	博多山笠	18			
6	岸和田だんじり	20	10票以	下省略			
7	岐阜高山祭	18					
8	博多どんたく	14					
9	神戸港祭	14					
10	ねぶた祭	14					

次に前項の想起結果とともに、祭事への参加状況を聞いてみますと、大阪・近畿圏では京都祇園祭が大阪地元の天神祭を押さえてトップ、3位、4位にも時代祭、葵祭が入り、京都の祭事の強さを見せていま

す。 首都圏の場合はさすが距離的な条件もあってか、京都祇園祭は3位にランクされています。

以上の調査結果にも明らかな通り、限られた調査対象とはいえ、自由記入の想起法だけにこれらのデータの信びょう性は高く、祇園祭を中心とする京都の祭事のパワーはきわめて大きいものがあるといえるで

6-2. 調査の内容

全員の人に祇園祭見物に出かけたことがあるかどうか聞いてみました。

Q、祇園祭の見物体験は?								
	祇園祭見物体験(%)							
	ある	ない						
京都市及び周辺	89.5	10.5						
大阪・近畿圏	63.3	36.7						
首都圏	22.8	77.2						

**** 地元京都圏では90%、大阪・近畿圏でも60%を超える **** 「京都市及び周辺」の人々の見物体験は89.5%を圧倒的多数で、ことに京都市内居住の人々はほぼ 100%に近い見物体験となっています。 一方、「大阪・近畿圏」に居住する人々の場合も63.3%と10人中6人強、「首都圏」の場合でも22.8%と

一方、「大阪、江飯間」に応は9の人ペルペロロ0い3かに10人でリハス 日間には、 決して低くない体験となっています。 しかし、以上の地域別参加状況を見る限り、日本に、世界に冠たる京都の祇園祭といえども見物客は地 元京都市、周辺部、そして大阪・近畿圏といった近隣地域からの動員が圧倒的であることを示しています。 これは、祇園会という人事に対する氏子、あるいはこれと同等の感覚に近い京都市民各位の参加が多い ことも理由の一つではないかと考えられます。

Q、祇園祭のどの祭事を見物?

		祇園祭でどんな祭事を見物(%)						
	山鉾巡行 宵山 宵々山 宵々々山 そ							
京都市及び周辺	49.3	77.8	54.7	17.2	3.4			
大阪・近畿圏	49.2	70.6	27.7	12.2	5.9			
首都圏	52.0	52.0	30.0	8.0	2.0			

6-3. 調査の内容

大阪・近畿圏、首都圏の祇園祭を見物した回答者に祇園祭見物のスケジュ 一ルを聞いてみました。

		祇園祭の	見物客のスケ	ジュール	
	日帰り	一泊二日	二泊三日	三泊四日	その他
大阪・近畿圏	90.8	4.6	0	0.4	7.6
首都圏	44.0	24.0	16.0	4.0	12.0

**** 人阪・近礁圏で、日帰り」908%、自御圏で、日帰り」440% ***** 尚、「日帰り見物」は山鉾巡行、宿泊見物の場合は宵山、宵々山に山鉾巡行といったフルコースになる ースも多いと推測されます。 とはいうものの、祇園祭は地元見物客は当然として「大阪・近畿圏」、「首都圏」のお客様も含めて「日

帰りコース」が中心となっていると考えられます。

6-4. 調査の内容

大阪・近畿圏、首都圏 --「前々から行きたいと考えていた」 *** 「知人・友人に誘われて!」 ***

祇園祭を見物の動機を聞いてみました。

祇園祭の見物しよう	と思った動機(%)	
	大阪・近畿圏	首都圏
前々から行きたいと思っていた	39.5	32
知人・友人に誘われて	38.7	26
新聞・テレビ・ラジオの記事やニュースを見て	10.1	20
京都の知人・親戚の招待を受けて	10.9	4
以前に見物して、とても良かったから	6.3	6
毎年見物することにしているので	5.9	2
雑誌の祇園祭特集記事を見て	0.4	2
交通機関に掲出されているポスターを見て	0	2
その他	10.1	14

祇園祭見物の動機を聞いてみました。理由の1位は、「大阪・近畿圏」、「首都圏」ともに「前々から行きたいと考えていたので」という潜在的願望を具体的に移したというケースです。 次は「知人・友人に誘われて」というもので、知人・友人の吸引力もあなどり難いものがあるようです。 「首都圏」に特徴的なケースなのは「新聞・テレビ・ラジオなどの記事やニュースを見て」が200%あ

るとことす。 これなどは、もともと持っていた京都への潜在的あこがれが祇園祭の関連記事を見ることで顕在化し、 行動をおこさせる刺激となったと考えられ、高度情報化社会のもとで京都発情報を常に提供しつづけるこ とが、観光客誘致にもいかに大切であるかを示すものといえましょう。

6-5. 調査の内容

**** 祇園祭は「友達とにぎやかに」!が多数は、

「家族同伴」も・・・ ***

全員の方にうかがいました。祇園祭見物は誰とご一緒?

		祇園祭見物は誰とご一緒? (%)								
	自分一人で	友人と	家族連れ	その他						
京都市及び周辺	5.9	49.6 (友人と二人で 25.6)	39.6	8.1						
大阪・近畿圏	6.8	52.5	29.9	10.8						
首都圏	10.4	41.7	39.6	8.3						

中でも、「京都及び周辺」の場合は「友人と二人で」が25.6%、と過半数を超え、祇園祭見物がデイト

サービ、 水配及び回返」の場合は、 次人に二人に) が2500%、 に過ぎ致を超ん、 128mmが27mm 7 mm 場となっていることも多いことがうかがえます。 また、家族連れのケースも多く、「京都及び周辺」36.6%、「大阪・近畿圏」29.9%、「首都圏」39.6% とかっています

こっています。 ずれにしても、夏祭特有の興奮の中で唯一人の単独見物はムード的にも似合うはずはなく、提唱役のリ "一を中心に仲間同士、家族連れでにぎやかに!というのが祇園祭を楽しむパターンといえるでしょう。

6-6-1. 調査の内容

一人平均:「京都及び周辺」・・5,086円、

「大阪・近畿圏」・・10,404円、「首都圏」・・46,836円 祇園祭見物での消費額は?

祇園祭見物で所婦日された金額はどれくらいか聞いてみました

- 一人平均消費額を推算すると前述のとおり一人平均: 「京都及び周辺」・・5,086円、「大阪・近畿 圏」・・10,404円、「首都圏」・・46,836円と、まずはつつましやかです。

宵山、宵々山、山鉾巡行にしても、ご覧の通りの人出で、満足に「ついで買い物」も出来かねる状況で

一四条通り、河原町通りなどの中核商店街が口をそろえて人出が多すぎて商売になりませんや!とおっしゃるのもむべなるかなです。

尚、消費額でも最も多い金額帯は「京都及び周辺」では3,000円未満で35.7%、「大阪・近畿圏」は10,000円未満が65.1%と平均諸費額が示すとおり比較的低額なレベルに集中しているのが特徴です。ただ、「首都圏」の場合のみ30,000円~70,000円の金額帯61.4%が集中しています。交通費・宿泊費等

を中心に金額がかさばる実態を示しているといえそうです。

30,000円~40,000円 · · · · 23.1% 40,000円~50,000円 · · · · 23.1% 50,000円~60,000円 · · · · 8.1% 60,000円~70,000円 7.1%

6-6-2. 調査の内容

使い途は? *** ***

祇園祭見物で消費される金額は以上の通り比較的低いことがわかった次第で すが、どのような使い途になっているのでしょうか?

	祇園祭見物で使った金額の使い途(%)												
	交通費	宿泊費 食事代		お土産代	厄除けちまき・ お守り・ おさい銭等	ジュース・ アイスクリーム 等の飲み物	その他						
京都市及び周辺	44.9	_	56.7	9.8	42.2	53.4	6.5						
大阪・近畿圏	47.4	2.9	44.8	9.7	15.4	32.5	2.9						
首都圏	60.2	44.7	67.6	28.6	12.2	34.7	8.2						

上記の通り全般的には交通費、食事代、ジュースなどの飲み物の占めるウエイトが大変高くなっていま

ッ。 もっとも三地域によって特徴があきらかで「京都及び周辺」では「厄除けちまき、お守り、おさい銭」などのウエイトが422%と食事代、交通費、ジュースなどの飲み物につづいて高く、首都圏の場合では「食事代」676%、「交通費」60.2%、「宿泊費」44.7%と遠来の祭見物にともなう諸掛りのウエイトが高いことを示しています。

6-7. 調査の内容

**** 祇園祭に限らず夏祭りの見物には浴衣が情緒的です! **** 京都及び周辺の回答者にうかがいました。

祇園祭見物の服装はどうでしたか? (%)									
	京都及び周辺								
プラウス、スカート、ワイシャツ、スラックス	41.8								
Tシャツ、ポロシャツ、ジーパン等の軽装	27.4								
浴衣	27.2								
その他	36								

宵山見物、山鉾巡行見物によって条件は違いますが、どのような装いが多いのか聞いてみました。 もっとも多かったのが「ブラウス、スカート、ワイシャツ、スラックスなどの普段着」で41.8%、次い で汗みずくになっても身軽な「Tシャツ、ポロシャツ、ジーパンなどの軽装」27.4%、3位に「浴衣」が

マ汗みずくになっても身軽な「Tシャツ、ポロシャツ、ジーパンなどの軽装」27.4%、3位に「浴衣」が 27.2%は居内の準でつついています。その他3.6%。 夏祭には浴衣姿が最もぴったりですし、宵山や宵宵山の見物客には浴衣姿が多いように見受けるのですが、今回調査の限りでは浴衣姿のウエイトは4人に1人強と以外に多くありません。 和装製閱選業界を中心に浴衣を着るキャンベーンが行われていますが、更に工夫をこらしたキャンベーン の推進が必要であることを、このデータは示しているといえそうです。

6-8. 調査の内容

**** 祇園祭のあとはどうされましたか?

⇒すぐ帰ったが圧倒的! ***

大阪・近畿圏、首都圏の方々にうかがいました。

祇園祭見物のあとどうされましたか(%)											
	大阪・近畿圏	首都圏									
すぐに帰った	72.7	34									
折角の機会なので京都の観光地を見物した	8.4	44									
京都の代表的な伝統産業を見物した	1.3	0									
京都ならではのショッピングをした	8.4	2									
滋賀、奈良、神戸などへ足をのばした	1.3	6									
その他	113	14									

最も多かったのが「大阪・近畿圏」では72.7%と圧倒的多数が「すぐ帰った」という回答です。隣接で必要とあれば、すぐにでも来れること、炎暑の7月中旬ということ等を考えれば、行動としては当然

なずけることです。
「折角の機会なので京都の観光地を見物した」「京都ならではのショッピングをした」が共に8.4%、「京都の代表的な伝統産業を見物した」1.3%などと低率にとどまっています。
一方、首都圏の場合は「折角の機会なので京都の観光地を見物した」が44.0%とトップを占め、「すぐに帰った」3.40%を押さえています。少なからぬ交通費を費した返来の祭見物だけに、この機会に、ついてに観光を!!という意欲が強く投影した結果となっています。
もっとも「恣聲・奈良・神戸などにも足をのばした」という近隣接地観光は6.0%にとどまり、京都の魅力に比べると、これらの地域に魅了されるところはきわめて小さいのでしょうか。

6-9. 調査の内容

**** 今年の祇園祭にお出かけになる予定は? *** 全員にうかがいました。

今年の祇園祭のお出かけ予定(%)											
	京都及び周辺	大阪・近畿圏	首都圏								
ぜひ行きたい	14	6.6	2.4								
できれば行きたい	32	24.6	22.2								
その時にならないと分からない	33.4	44.3	39.2								
以前に見たので行かない	8.1	9.4	7.6								
テレビで見るので行かない	5.9	7.3	14								
興味がないので行かない	4.4	7.8	14.6								
その他	2.2	0	0								

今年の祇園祭の見物計画を聞いてみました。 程度の差は別として、「ぜひ行きたい」+「できれば行きたい」と回答され、「行きたい」と考えている 回答が「京都及び周辺」で46.0%、「大阪・近畿圏」は31.2%、「首都圏」の場合はやや低く24.6%となっ

。 理由はともかく「行かない」という回答は、「京都及び周辺」18.4%、「大阪・近畿圏」24.5%、 」36.2%となり、首都圏のみ遠来という理由もあるのでしょうが、「行きたい」という願望を上回

っています。 もっとも、項目別に見てもっとも多いのは、いずれの地区ともに「その時にならないと分からない」と いう回答で、祇園祭当日にならないと、わからないというのが正値なところでしょう。

6-10 調査の内容

**** 祇園祭で何を見物されますか?

今年も祇園祭に「ぜひ行きたい」「できれば行きたい」と答えていただいた 方に、どの祭事を見物される予定か聞いてみました。

今年の祇園祭でどの祭事を見物? (%)												
山鉾巡行 宵山 宵々山 宵々々山 その他												
京都市及び周辺	26.0	51.3	26.4	13.9	3.3							
大阪・近畿圏	34.3	51.0	8.8	6.9	3.9							
首都圏	47.6	45.2	4.8	4.8	11.9							

6-11. 調査の内容

**** 祇園祭についてどのように考えますか? **** 祇園祭についてどのように考えるか、三地域の意識をまとめてみました。

祇園祭についてどのように考えますか?	(%)		
	京都及び 周辺	大阪・ 近畿圏	首都圏
日本三大祭りのひとつとして、いつ見てもすばらしい	29.9	20.2	38
歴史的・美術的・民族的な観点からも我国第一の祭りだ	21.7	11.8	24
日本の祭りの原点・永久に伝えなければならない民族遺産だ	23.7	16.2	22
京都観光資源の中核で、京都イメージ向上に多方面で役立っている	32.6	14.7	22
京都人の持つ高度な文化性、芸術性を示すもので他の祭りとは大きな 違いがある	13.5	6.8	20
祇園祭が来ないと京都の夏が来ない	39.9	17.5	16
鉾町の夜間人口の減少など、祭りを支える基盤が変化しているだけに、 伝統を守りつつ二十一世紀に生きる祇園祭を創造していく努力が必要	19.5	4	8.6
財政基盤強化のために祇園祭関連の美術品などを常設展示する「祇園 祭美術館」を建設するのはどうか	6.3	3.4	6
保存と伝承を支援するファンクラブを作り全国から会員を募集したら どうか	3.2	0.8	4
全国的に新しいイベントや観光施設が作られ地域間競合が激しいので、 祇園祭も既存の知名度にこだわらず、もっと積極的な観光客の誘致活動 が必要	5.5	3.4	6
一度見物すれば十分、繰り返し見ても同じ	5.2	9.2	8
その他	2.2	4.2	2

その他

「京都及び周辺」の人々が抱くイメージ、意識をベースに見て見ましょう。
京都で最も多かったのは「祇園祭が来ないと夏が来ない」というもので39.9%、毎年めぐり来る夏の
風物詩として、京都の生活にすっかり溶け込んでいることがわかります。
ところが、「大阪・近畿園」「首都園」でこのようなイメージを持っているケースは17.5%、16.0%に過ぎず、「日本三大条のひとつとして、いつ見てもすばらしい、がトップで、むしろ観念的にとらえられているのが特徴といえるでしょう。(大阪・近畿園:20.2%、首都園:38%)
「京都及び周辺」で2位にあげられたのは、「京都観光資源の中核で、京都イメージ向上に多方面で役に立っている」で32.6%、3位には「日本の祭りの原点であり、永久に伝えなければならない民族遺産だ」が23.7%とつついています。
4位は「歴史的、美術的、民族的な観点から我国第一の祭だ」が21.7%とほぼ肩を並べています。このような地元見解に同調意識を示しているのが、首都圏で「京都観光資源の中核・・・」には22.9%、また「日本の祭の原点であり、・・・」には同じく22.0%が、さらに「歴史的、美術的、民族的な観点からも・・・」にも24.0%が同調しています。このような首都圏の人々の意識に対して、大阪・近畿圏は一様にかなり低率で、やや距離をおいた見方となっている点が注目されるところです。

■ ところで、明日の祇園祭の運営について建設的な事例を設定してご意見をうかがおうとしたところ、次の通り皆一様に低い反応となっています。

参考アンケート!

大阪・近畿圏、首都圏のサラリーマン、OLの皆様が、これま で京都にどれだけ来ているか、入洛動機は何か聞いてみました **** ほぼ100%に近い入洛率で6回以上が大阪・近畿圏で94.6%、首都圏で41.0%、 動機は大阪・近畿圏は「社寺、仏閣の拝観」、首都圏は「修学旅行」です。

		入洛の動機	幾 (%)							
	大阪・近畿圏		首都圏							
1	社寺、仏閣の拝観	62.4	修学旅行	78.8						
2	名所・史跡の見学	52.5	社寺、仏閣の拝観	46.5						
3	祇園祭など京都の祭りの見物	38.9	名所・史跡の見学	44.2						
4	友人、知人訪問	32.0	会社の業務出張	24.9						
5	ショッピング	31.7	友人、知人訪問	17.5						
6	その他	22.4	祇園祭など京都の祭りの見物	16.1						
7	会社の業務出張	16.5	その他	15.2						
8	勉学	12.3	ショッピング	8.8						
9	修学旅行	12.0	伝統産業の見学	8.3						
10	伝統産業の見学	10.1	勉学	2.8						

	入洛率								
大阪・近畿圏	98.9%								
首都圏	98.2%								
当然とはいえ、ほぼ100%近い入洛率で京都の持つ吸引力の強さは大変なものがあります。									
6回以上の入洛率	入洛率								
大阪・近畿圏	94.6%								
首都圏	41.0%								

6回以上京都に来た"という京都ファンは大阪・近畿圏で94.6%と隣接地とはいえ、きわめて高い数字

ひらみ上の場所でいた。 となっています。 一方、首都圏の場合でも6回以上が41.0%と相当なウエイトです。 「2回」20.6%、「3回」1.3%とつづいていますが、交通費の負担を考えると、決して少ない入洛回数とはいえないと考えられます。

◆担当山鉾の推移

: ボランティアが参加した山鉾

		【さきの祭り巡行】巡行順													【あとの祭り巡行】巡行順																		
巡行順	年号	1番くじ 取らず	2番	3番	4番	5番くじ 取らず	6番	7番	8番	9番	10番	11番	12番	13番	14番	15番	16番	17番	18番	19番	20番	21番くじ 取らず	22番くじ 取らず	23番くじ 取らず	24番くじ 取らず	25番くじ 取らず	26番	27番	28番	29番	30番	31番	23番くじ 取らず
2003年	平成15年	長刀鉾	霰天 神山	郭巨山	山伏山	函谷鉾	占出山	四条傘鉾	孟宗山	月鉾	油天神山	太子山	保昌山	鶏鉾	白楽	綾傘鉾	木賊山	菊水鉾	芦刈山	伯牙山	蟷螂山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	鈴鹿山	鯉山	八幡山	黒主山	浄妙山	役行 者山	南観音山
2002年	平成14年	長刀鉾	油天神山	保昌山	郭巨山	函谷鉾	孟宗山	四条傘鉾	占出山	菊水鉾	太子山	伯牙山	木賊山	鶏鉾	白楽 天山	被傘鉾	蟷螂山	月鉾	芦刈山	山伏山	霰天 神山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	 橋弁 慶山	鈴鹿山	浄妙山	八幡山	役行 者山	鯉山	黒主山	南観 音山
2001年	平成13年	長刀鉾	蟷螂山	一 霰天 神山	占出山	函谷鉾	伯牙山	綾傘鉾	保昌山	菊水鉾	白楽 天山	太子山	油天 神山	月鉾	木賊山	四条傘鉾	孟宗山	鶏鉾	芦刈山	山伏山	郭巨山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観 音山	 橋弁 慶山	役行 者山	鈴鹿山	浄妙山	八幡山	鯉山	黒主山	南観音山
2000年	平成12年	長刀鉾	郭巨山	油天神山	保昌山	函谷鉾	山伏山	四条傘鉾	占出山	鶏鉾	白楽 天山	木賊山	伯牙山	月鉾	芦刈山	綾傘鉾	孟宗山	菊水鉾	太子山	蟷螂山	一 霰天 神山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	鈴鹿山	八幡山	鯉山	浄妙山	役行 者山	黒主山	南観音山
1999年	平成11年	長刀鉾	白楽 天山	占出山	伯牙山	函谷鉾	霰天 神山	四条傘鉾	蟷螂山	菊水鉾	孟宗山	山伏山	郭巨山	鶏鉾	芦刈山	綾傘鉾	木賊山	月鉾	油天神山	保昌山	太子山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	役行 者山	八幡山	鈴鹿山	鯉山	浄妙山	黒主山	南観音山
1998年	平成10年	長刀鉾	蟷螂山	油天神山	木賊山	函谷鉾	白楽 天山	四条傘鉾	郭巨山	鶏鉾	霰天 神山	占出山	伯牙山	菊水鉾	山伏山	綾傘鉾	孟宗山	月鉾	保昌山	太子山	芦刈山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	 橋弁 慶山	八幡山	鈴鹿山	役行 者山	黒主山	鯉山	浄妙山	南観音山
1997年	平成9年	長刀鉾	孟宗山	占出山	太子山	函谷鉾	保昌山	綾傘鉾	白楽 天山	月鉾	蟷螂山	伯牙山	芦刈山	鶏鉾	霰天 神山	四条傘鉾	郭巨山	菊水鉾	山伏山	木賊山	油天神山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	鈴鹿山	浄妙山	八幡山	鯉山	役行 者山	黒主山	南観 音山
1996年	平成8年	長刀鉾	保昌山	郭巨山	白楽 天山	函谷鉾	芦刈山	綾傘鉾	霰天 神山	菊水鉾	占出山	孟宗山	木賊山	鶏鉾	山伏山	四条傘鉾	太子山	月鉾	伯牙山	蟷螂山	油天神山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	浄妙山	役行 者山	鯉山	八幡山	鈴鹿山	黒主山	南観 音山
1995年	平成7年	長刀鉾	孟宗山	木賊山	霰天 神山	函谷鉾	占出山	綾傘鉾	保昌山	菊水鉾	伯牙山	郭巨山	太子山	鶏鉾	芦刈山	白楽 天山	蟷螂山	月鉾	四条傘鉾	山伏山	油天神山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	役行 者山	黒主山	浄妙山	鈴鹿山	八幡山	鯉山	南観音山
1994年	平成6年	長刀鉾	占出山	芦刈山	郭巨山	函谷鉾	油天神山	太子山	保昌山	菊水鉾	白楽 天山	木賊山	蟷螂山	鶏鉾	伯牙山	四条傘鉾	孟宗山	月鉾	霰天 神山	山伏山	綾傘鉾	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観 音山	橋弁 慶山	黒主山	浄妙山	役行 者山	鯉山	八幡山	鈴鹿山	南観 音山
1993年	平成5年	長刀鉾	四条傘鉾	郭巨山	綾傘鉾	函谷鉾	伯牙山	太子山	芦刈山	鶏鉾	孟宗山	木賊山	霰天 神山	菊水鉾	油天神山	蟷螂山	保昌山	月鉾	占出山	山伏山	白楽 天山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	浄妙山	鯉山	役行 者山	黒主山	八幡山	鈴鹿山	南観 音山
1992年	平成4年	長刀鉾	山伏山	太子山	郭巨山	函谷鉾	綾傘鉾	木賊山	油天神山	鶏鉾	保昌山	白楽 天山	四条 傘鉾	月鉾	占出山	伯牙山	孟宗山	菊水鉾	芦刈山	蟷螂山	霰天 神山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	鯉山	役行 者山	八幡山	浄妙山	黒主山	鈴鹿山	南観 音山
1991年	平成3年	長刀鉾	四条 傘鉾	郭巨山	一一報刊 一一一	函谷鉾	太子山	保昌山	木賊山	鶏鉾	山伏山	蟷螂山	孟宗山	菊水鉾	芦刈山	占出山	白楽 天山	月鉾	伯牙山	綾傘鉾	神山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観 音山	橋弁 慶山 ———	鈴鹿山	黒主山	净妙山	八幡山	鯉山	役行 者山	南観 音山
1990年	平成2年	長刀鉾	蟷螂山	郭巨山	白楽 天山	函谷鉾	油天神山	芦刈山	木賊山	月鉾	報天 神山	山伏山	綾傘鉾	鶏鉾	保昌山	伯牙山	孟宗山	菊水鉾	太子山	占出山	*	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山 ———	八幡山	浄妙山	黒主山	役行 者山	鯉山	鈴鹿山	南観 音山
1989年	平成元年	長刀鉾	木賊山	蟷螂山	占出山	函谷鉾	保昌山	四条 傘鉾	綾傘鉾	月鉾	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	伯牙山	神山	菊水鉾	芦刈山	太子山	白楽 天山	鶏鉾	郭巨山	孟宗山	山伏山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観 音山	橋弁 慶山	八幡山	黒主山	浄妙山	鈴鹿山	役行 者山	鯉山	南観 音山
1988年	昭和63年	長刀鉾	太子山	郭巨山	木賊山	函谷鉾	伯牙山	白楽 天山	孟宗山	月鉾	綾傘鉾	油天神山	蟷螂山	鶏鉾	霰天 神山	芦刈山	四条 傘鉾	菊水鉾	占出山	保昌山	山伏山	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	八幡山	鈴鹿山	鯉山	浄妙山	役行 者山	黒主山	南観 音山
1987年	昭和62年	長刀鉾	郭巨山	孟宗山	保昌山	函谷鉾	木賊山	芦刈山	占出山	菊水鉾	油天神山	山伏山	太子山	月鉾	蟷螂山	綾傘鉾	霰天 神山	鶏鉾	伯牙山	白楽 天山	*	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	鈴鹿山	役行 者山	八幡山	黒主山	鯉山	浄妙山	南観 音山
1986年	昭和61年	長刀鉾	孟宗山	郭巨山	山伏山	函谷鉾	伯牙山	木賊山	占出山	菊水鉾	白楽 天山	芦刈山	太子山	鶏鉾	油天神山	綾傘鉾	保昌山	月鉾	霰天 神山	蟷螂山	*	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	八幡山	鈴鹿山	浄妙山	黒主山	役行 者山	鯉山	南観 音山
1985年	昭和60年	長刀鉾	一一一 一一一	占出山	蟷螂山	函谷鉾	山伏山	木賊山	芦刈山	菊水鉾	白楽 天山	保昌山	太子山	月鉾	郭巨山	綾傘鉾		鶏鉾	孟宗山	神山	*	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観音山	橋弁 慶山	鈴鹿山	净妙山	鯉山	黒主山	役行 者山	八幡山	南観 音山
1984年	昭和59年	長刀鉾	郭巨山	木賊山	保昌山	函谷鉾	霰天 神山	芦刈山	蟷螂山	菊水鉾	山伏山	綾傘鉾	孟宗山	鶏鉾	占出山	白楽 天山	油天神山	月鉾	伯牙山	太子山	*	放下鉾	岩戸山	船鉾	北観 音山	橋弁 慶山	黒主山	八幡山	浄妙山	鈴鹿山	役行 者山	鯉山	南観音山

浄心 20年のあゆみ (非売品)

発行日:2003年11月8日

発 行:京都・祇園祭ボランティア21

〈事務局〉〒602-8688

京都市上京区堀川寺之内上ル (社)茶道裏千家淡交会総本部内

TEL: 075-451-5166

E-mail : gion-fes@lily.freemail.ne.jp URL : www2.odn.ne.jp/gionmatsuri/

編 集:株式会社テックコミュニケーションズ

協賛企業

・京都銀行

協力企業

- ・本家玉壽軒
- ·京都YMCA
- ・京都府国際センター
- ・アド・ブレーン(株)
- ・ウェッジ(株)
- ・B-way (株)
- ・(有) マイプレス



